

令和元年度
バルク貨物流動調査

調査結果
概要版

令和2年5月

国土交通省港湾局

はじめに

わが国は輸出入貨物の99%以上が海上輸送であり、産業や国民生活に欠かせない資源、エネルギー、食糧等をはじめとするバルク貨物のほとんどは海外からの輸入に依存しています。このようなバルク貨物について、生産地から消費地までの海陸一貫の流動実態を把握することは、今後の港湾政策を立案するに当たって極めて重要です。このため、外貿、内貿を含め、生産地から消費地までの一貫したバルク貨物の流動状況について、令和元年11月1日から30日までの1ヶ月間、実態調査を行いました。

本調査は、過去2回（平成21年度、平成26年度）実施されており、この結果は国土交通省においてバルク貨物輸送に即した行政運営、及び、バルク貨物拠点港や関連施設の整備計画の策定等に広く利用されているほか、港湾管理者、関係団体さらには民間の事業者においても事業計画立案等の基礎資料として有効に活用されています。

今年度以降、国において詳細な分析を進める予定ですが、調査結果を「令和元年度 バルク貨物流動調査 調査結果概要版」として取りまとめました。バルク貨物流動調査への理解を深めていただくとともに、今後、バルク貨物流動調査の結果を活用する上での参考資料となるよう、わが国港湾発着のバルク貨物の動向等を分かりやすくまとめたものです。今回の調査結果についても、有効に利用されることを期待しております。

今回の調査においては、一般社団法人日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、外国船舶協会、日本船舶代理店協会、外航船舶代理店業協会をはじめ、各船社、荷主、関係団体の方々など多く皆様に御協力をいただき、有用なデータを取りまとめることができました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、今後の同調査の主旨、重要性に対するご理解を深めていただき、次回調査においても積極的にご協力頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

令和2年5月

国土交通省港湾局

目次

1. 調査内容	1
2. 調査方法	1
3. 調査結果	2
3-1. 取扱貨物量	2
(1) 品目別貨物量	3
(2) 港湾別貨物量	4
(3) 品目別仕出(向)地別貨物量(国内)	8
(4) 品目別仕出(向)国別貨物量(海外)	12
(5) 出(入)荷施設別貨物量	14
(6) 出(入)荷施設での貨物取扱	15
3-2. 船型、寄港回数等	16
(1) 船型別隻数	16
(2) 寄港回数	20
3-3. 内陸及び海上の流動状況	24
参考資料 品目コード	27

1. 調査内容

調査範囲：バルク貨物の以下の流動実態

- ①内陸（仕出地）から臨海地域の出荷施設までの輸送
- ②臨海地域の出荷施設から船舶までの輸送
- ③船舶輸送
- ④船舶から臨海地域の入荷施設までの輸送
- ⑤臨海地域の入荷施設から内陸（仕向地）までの輸送

調査期間：令和元年11月1日（金）～11月30日（土）の30日間

調査対象貨物：上記調査実施期間中に我が国港湾に入出港する船舶によって輸送されるバルク貨物（「コンテナ貨物」及び「フェリー」、「RORO船」等を除く内航船舶、外航船舶により輸送される貨物。バラ積みのドライバルク、原油等の液体バルク、完成自動車等が対象。船種としては、在来船、タンカー、PCC船の他、各種専用船が対象。）

2. 調査方法

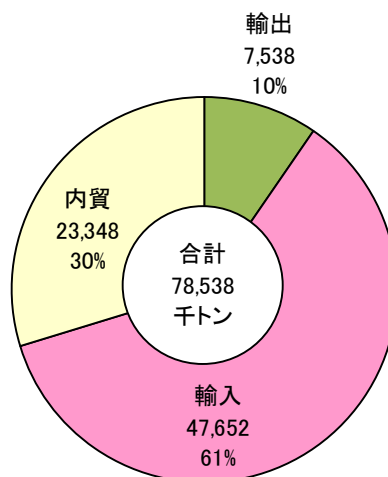
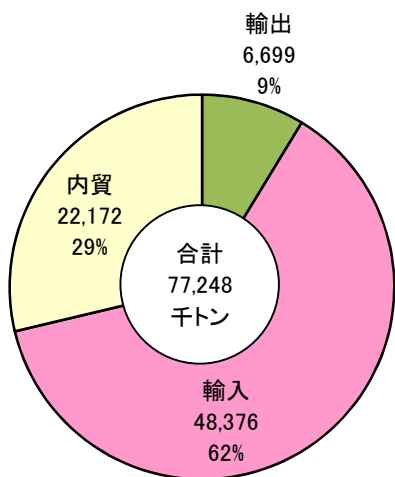
調査は、本調査、補足調査の二段階で実施した。

該当する対象者に対して本調査を実施した。本調査は、調査内容の中心実態を把握する者である船社を対象とし、対象の船社には、調査票を記入、回収した上で、未記入部分については、誰に補足調査をするべきかを併せて尋ねた。未記入部分を補完するための補足調査は、内陸流動を把握していると思われる事業者を対象として実施した。

3. 調査結果

3-1. 取扱貨物量

取扱貨物量は、輸出 7,538 千トン（10%）、輸入 47,652 千トン（61%）、外貿合計 55,190 千トン（71%）、内貿 23,348 千トン（30%）、合計 78,538 千トンとなっており、輸入の割合が多い。



※完成自動車については1台10トンに換算した

図-3.1.1 外貿内貿別貨物量
【前回調査（平成26年度）】

図-3.1.2 外貿内貿別貨物量
【今回調査（令和元年度）】

調査期間

前回調査（平成26年度）：平成26年11月1日（土）～11月30日（日）の30日間

今回調査（令和元年度）：令和元年11月1日（金）～11月30日（土）の30日間

(1) 品目別貨物量 (※品目の詳細については、巻末の品目コードを参照ください)

輸出は、1位が完成自動車 61%、2位が鋼材 12%、3位がその他石油製品 5%であり、上位3品目で78%であった。

輸入は、1位が石炭 31%、2位が原油 29%、3位が鉄鉱石 21%であり、上位3品目で81%であった。輸入貨物はバルク貨物全体の大部分を占めるため、この3品目は非常に取扱量の大きな貨物といえる。

内貿は、1位が完成自動車 12%、2位がその他の石油 12%、3位が石灰石 12%、4位がセメント 11%、上位4品目で47%であった。

表-3.1.1 輸出：品目別貨物量 (上位10品目)

順	品目CD	品目名	貨物量(千トン)	割合
1	252	完成自動車	4,614	61%
2	222	鋼材	891	12%
3	324	その他石油製品	397	5%
4	301	窯業品	207	3%
5	211	非金属鉱物	190	3%
6	320	揮発油	168	2%
7	351	化学薬品	165	2%
8	221	鉄鋼	139	2%
9	281	セメント	106	1%
10	331	コークス	89	1%
		その他	572	8%
		合計	7,538	100%

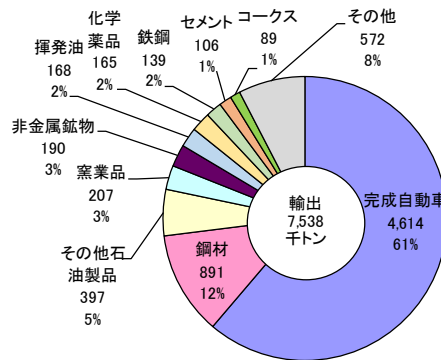


図-3.1.3 輸出：品目別貨物量

※完成自動車については1台10トンに換算した

表-3.1.2 輸入：品目別貨物量 (上位10品目)

順	品目CD	品目名	貨物量(千トン)	割合
1	131	石炭	14,725	31%
2	171	原油	13,725	29%
3	141	鉄鉱石	10,037	21%
4	322	LNG(液化天然ガス)	2,430	5%
5	111	木材チップ	2,026	4%
6	151	金属鉱	546	1%
7	211	非金属鉱物	375	1%
8	22	とうもろこし	343	1%
9	201	原塩	328	1%
10	11	麦	311	1%
		その他	2,806	6%
		合計	47,652	100%

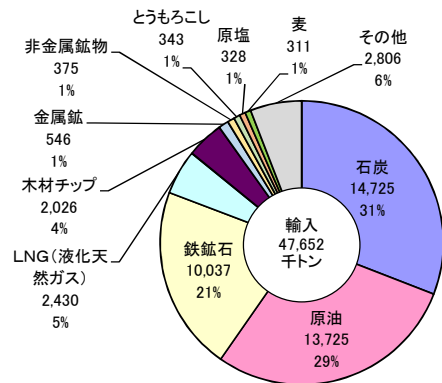


図-3.1.4 輸入：品目別貨物量

表-3.1.3 内貿：品目別貨物量 (上位10品目)

順	品目CD	品目名	貨物量(千トン)	割合
1	252	完成自動車	2,913	12%
2	321	その他の石油	2,782	12%
3	191	石灰石	2,738	12%
4	281	セメント	2,510	11%
5	222	鋼材	2,456	11%
6	311	重油	1,841	8%
7	320	揮発油	1,574	7%
8	324	その他石油製品	1,026	4%
9	131	石炭	868	4%
10	351	化学薬品	825	4%
		その他	3,816	16%
		合計	23,348	100%

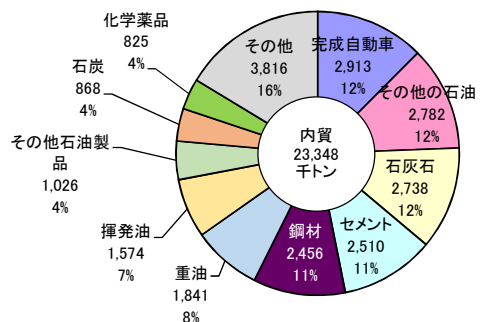


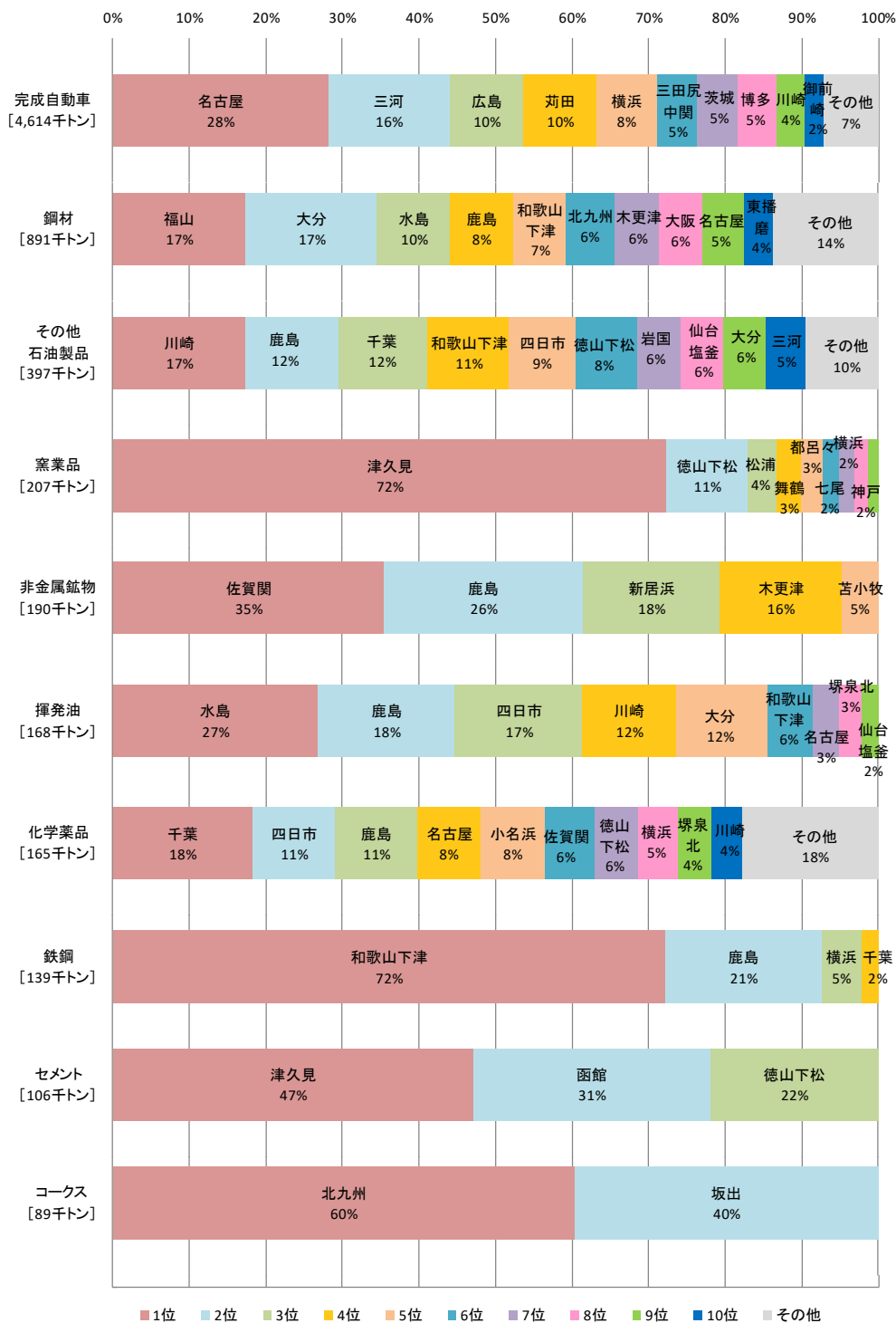
図-3.1.5 内貿：品目別貨物量

※完成自動車については1台10トンに換算した

(2) 港湾別貨物量

1) 輸出 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、名古屋港が 28%、三河港が 16%、広島港、荻田港が 10%であった。2 位の鋼材では、福山港、大分港が 17%、水島港が 10%、鹿島港が 8%であった。3 位のその他石油製品では、川崎港が 17%、鹿島港、千葉港が 12%、和歌山下津港が 11%であった。

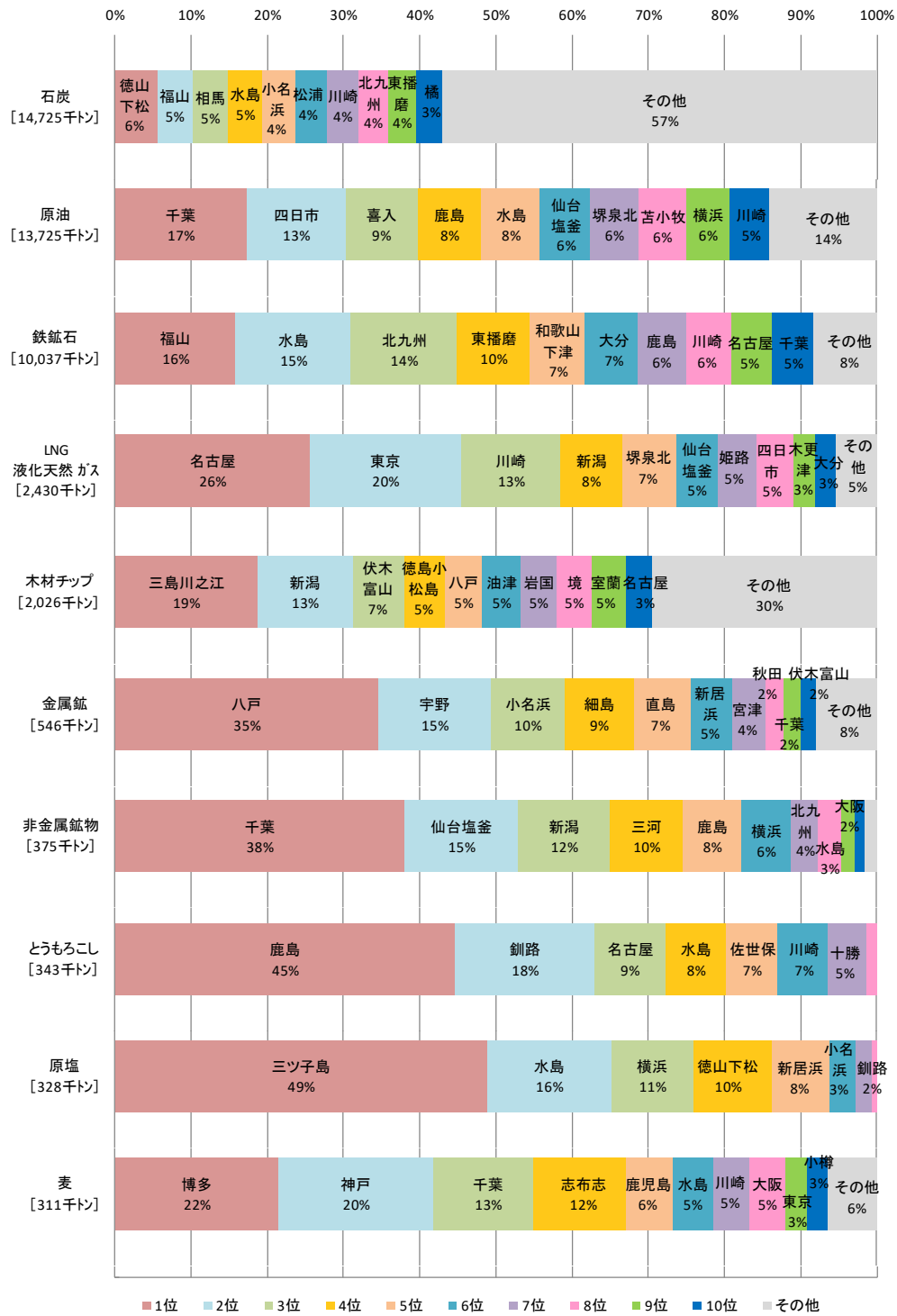


※完成自動車については1台10トンに換算した

図-3.1.6 輸出：品目別船積港別貨物量

2) 輸入 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、徳山下松港が 6%、福山港、相馬港、水島港が 5%、小名浜港、松浦港、川崎港、北九州港、東播磨港が 4%であった。2 位の原油では、千葉港が 17%、四日市港が 13%、喜入港が 9%であった。3 位の鉄鉱石では、福山港が 16%、水島港が 15%、北九州港が 14%であった。

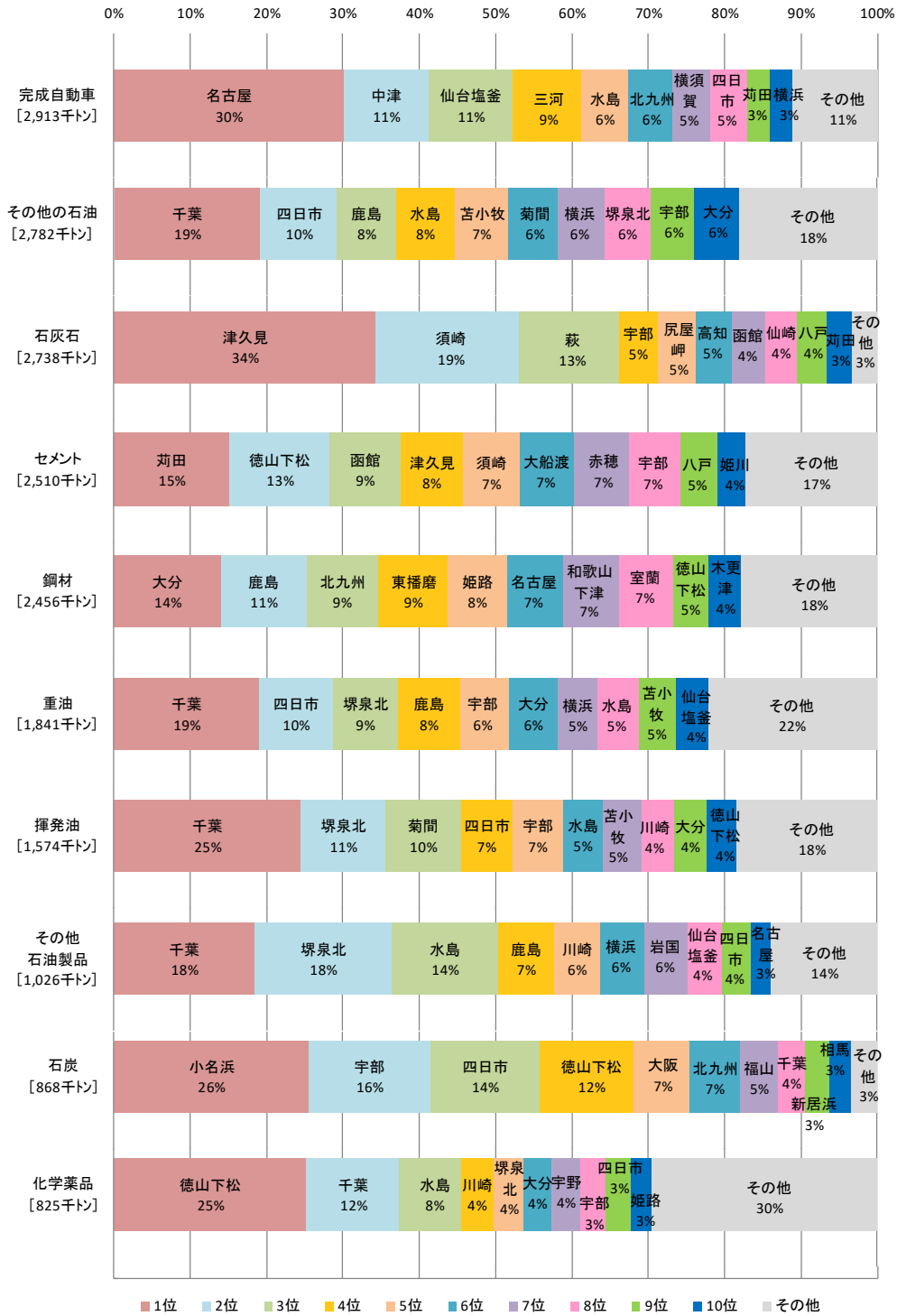


※10 位以下をその他とする

図-3.1.7 輸入：品目別船卸港別貨物量

3) 移出 (上位10品目)

取扱貨物量上位3品目を見ると、1位の完成自動車では、名古屋港が30%、中津港、仙台塩釜港が11%であった。2位のその他の石油では、千葉港が19%、四日市港が10%、鹿島港が8%であった。3位の石灰石では、津久見港が34%、須崎港が19%、萩港が13%であった。

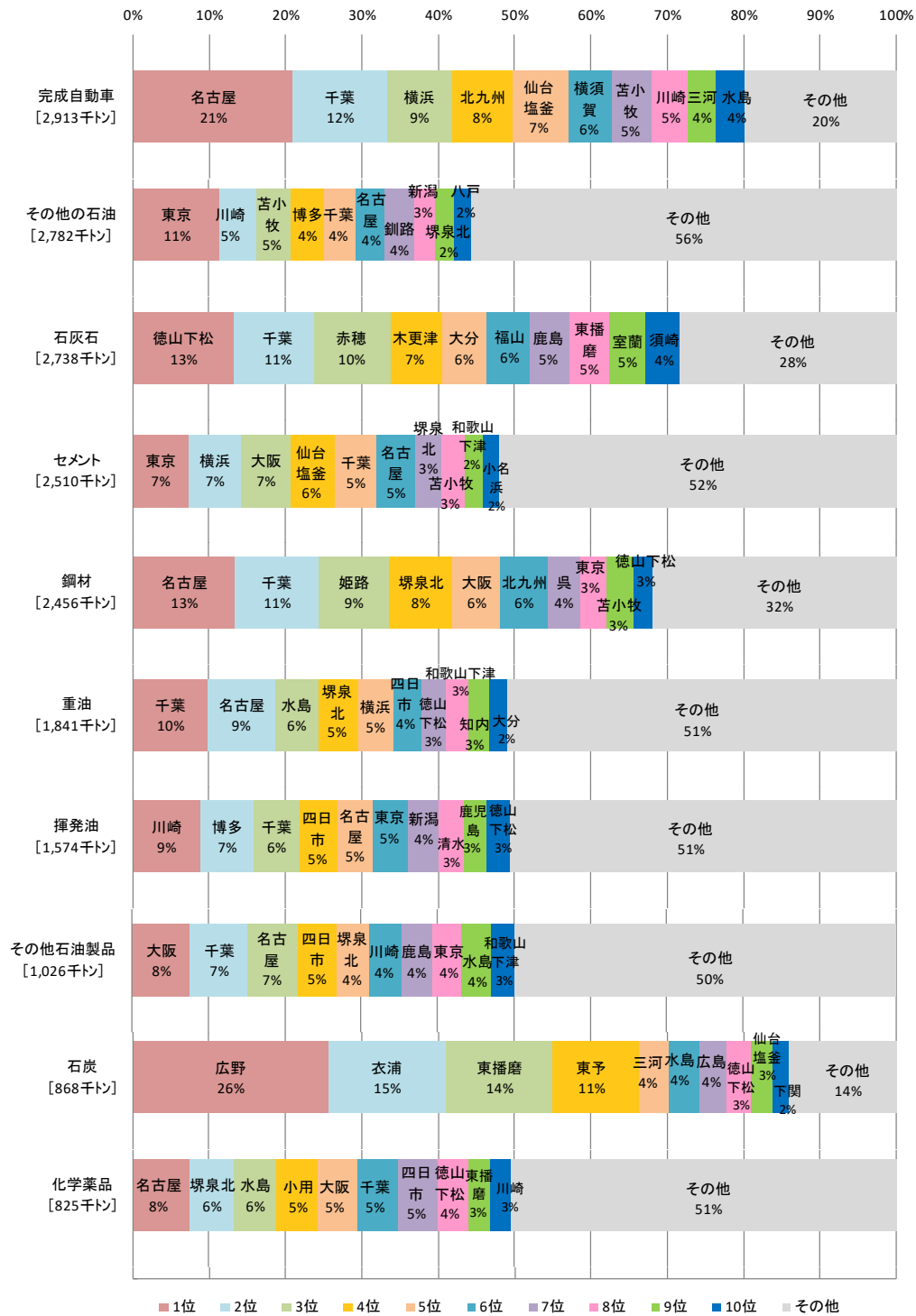


※完成自動車については1台10トンに換算した
※10位以下をその他とする

図-3.1.8 移出：品目別船積港別貨物量

4) 移入 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、名古屋港が 21%、千葉港が 12%、横浜港が 9%であった。2 位のその他の石油では東京港が 11%、川崎港、苫小牧港が 5%、博多港、千葉港、名古屋港、釧路港が 4%であった。3 位の石灰石では、徳山下松港が 13%、千葉港が 11%、赤穂港が 10%であった。3 位の石灰石では、徳山下松港が 13%、千葉港が 11%、赤穂港が 10%であった。



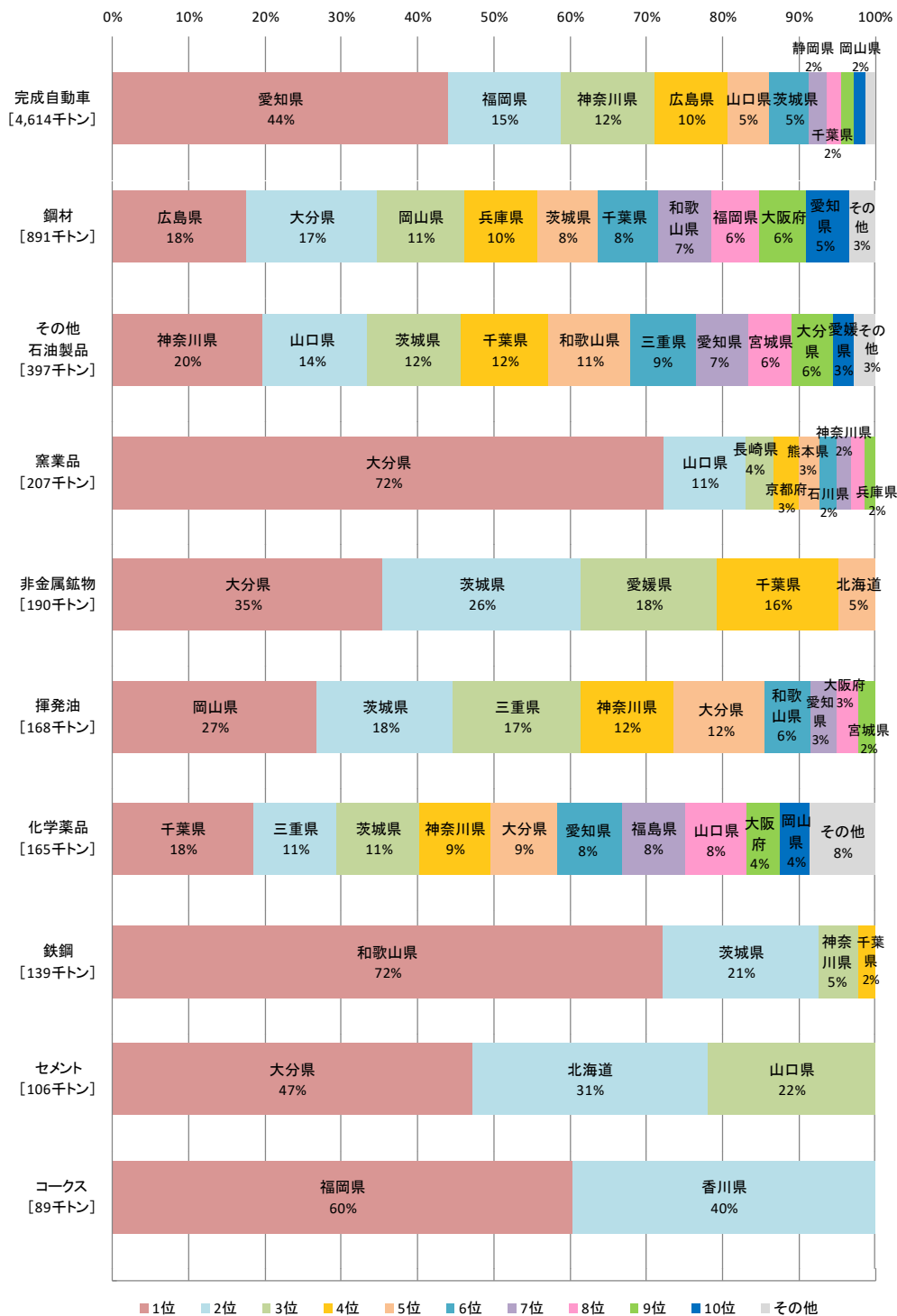
※完成自動車については1台10トンに換算した
 ※10位以下をその他とする

図-3.1.9 移入：品目別船卸港別貨物量

(3) 品目別仕出(向)地別貨物量(国内)

1) 仕出地(輸出)上位10品目

取扱貨物量上位3品目を見ると、1位の完成自動車では、愛知県が44%、福岡県が15%、神奈川県が12%であった。2位の鋼材では、広島県が18%、大分県が17%、岡山県が11%であった。3位のその他石油製品では、神奈川県が20%、山口県が14%、茨城県、千葉県が12%であった。

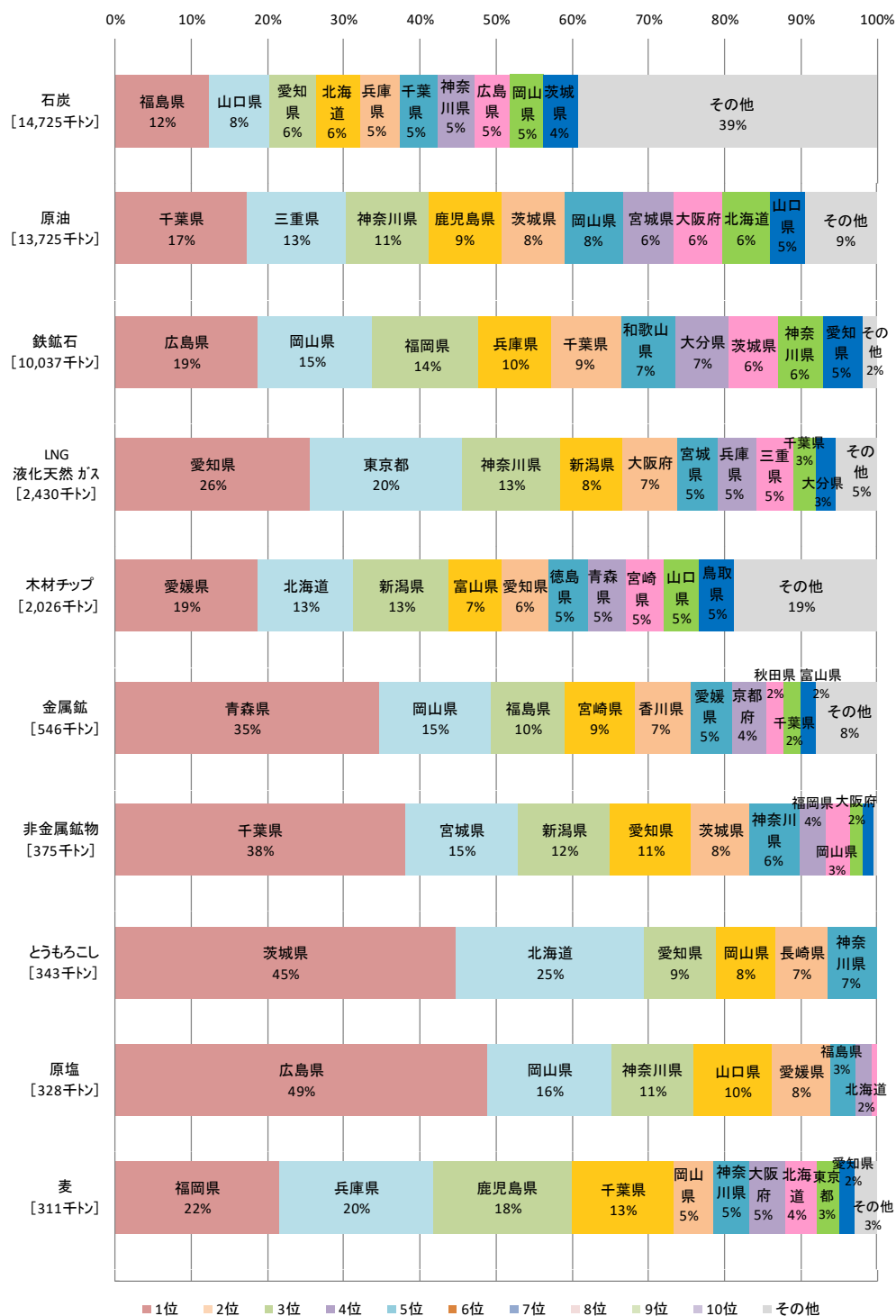


※完成自動車については1台10トンに換算した
 ※10位以下をその他とする

図-3.1.10 輸出：品目別仕出地別貨物量

2) 仕向地（輸入）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、福島県が 12%、山口県が 8%、愛知県、北海道が 6%であった。2 位の原油では、千葉県が 17%、三重県が 13%、神奈川県が 11%であった。3 位の鉄鉱石では、広島県が 19%、岡山県が 15%、福岡県が 14%であった。

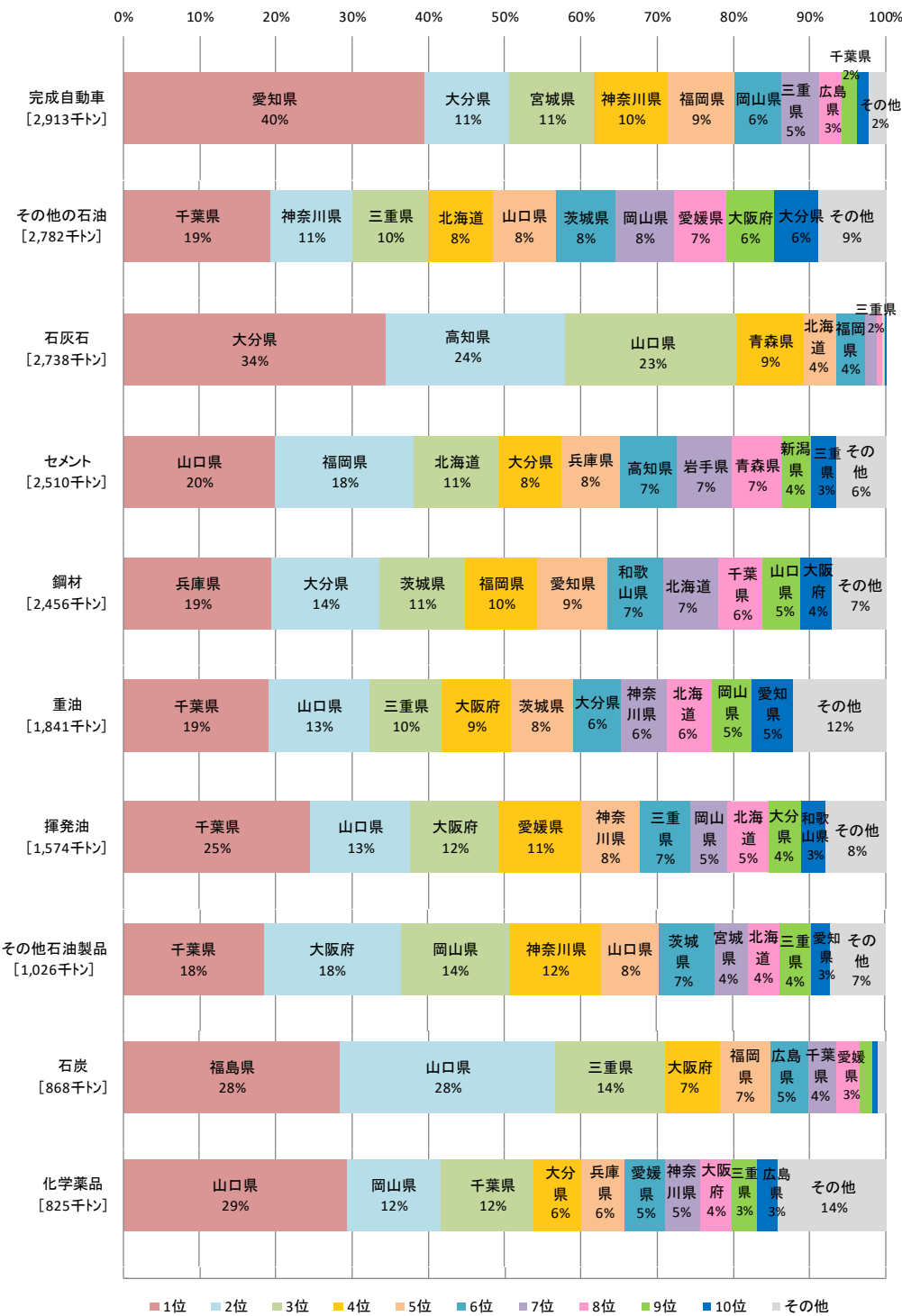


※10 位以下をその他とする

図-3.1.11 輸入：品目別仕向地別貨物量

3) 仕出地（移出）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、愛知県が 40%、大分県、宮城県が 11%、神奈川県が 10%であった。2 位のその他の石油では、千葉県が 19%、神奈川県が 11%、三重県が 10%であった。3 位の石灰石では、大分県が 34%、高知県が 24%、山口県が 23%であった。

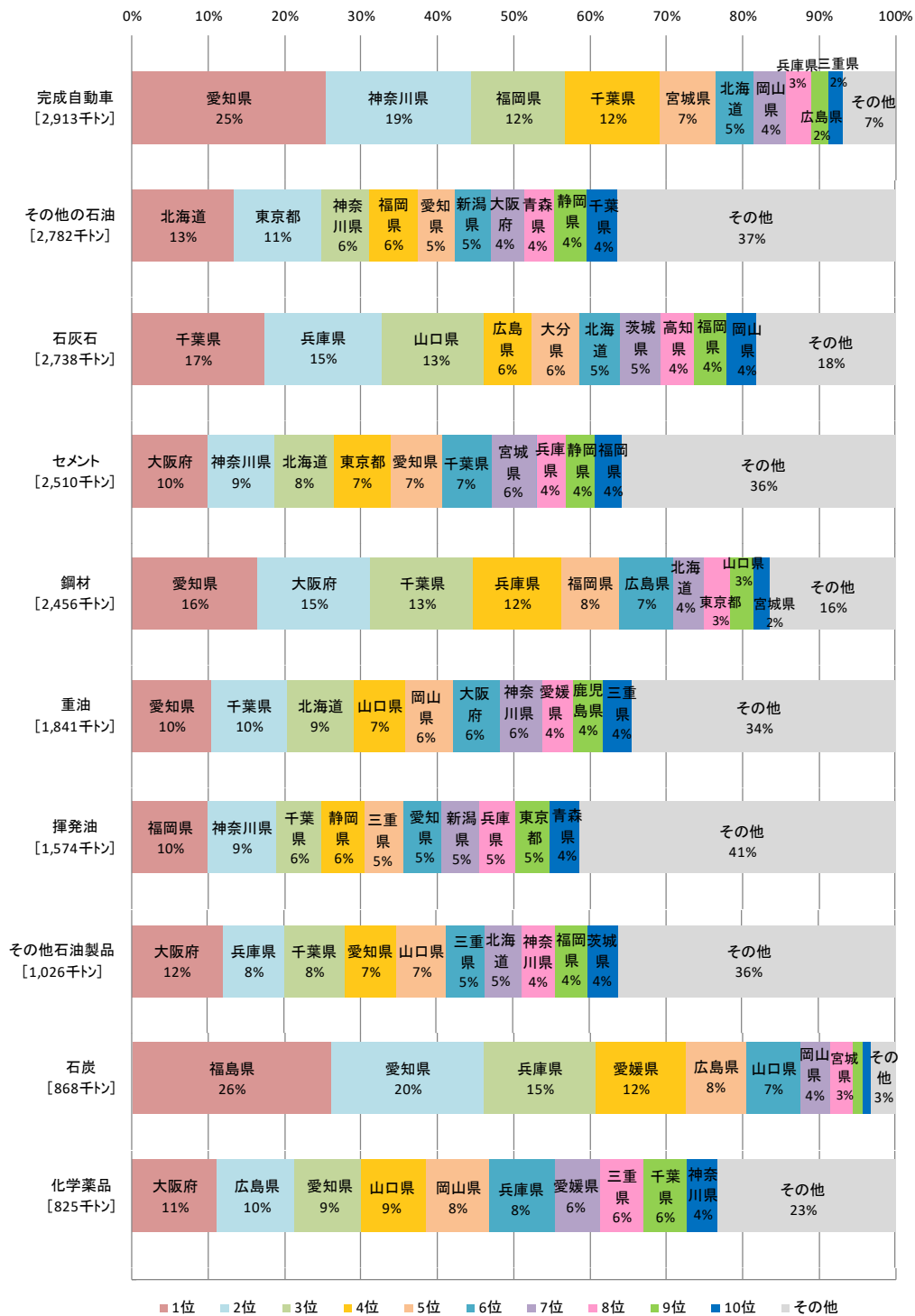


※完成自動車については 1 台 10 トンに換算した
※10 位以下をその他とする

図-3.1.12 移出：品目別仕出地別貨物量

4) 仕向地（移入）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、愛知県が 25%、神奈川県が 19%、福岡県が 12%であった。2 位のその他の石油では、北海道が 13%、東京都が 11%、神奈川県、福岡県が 6%であった。3 位の石灰石では、千葉県が 17%、兵庫県が 15%、山口県が 13%であった。



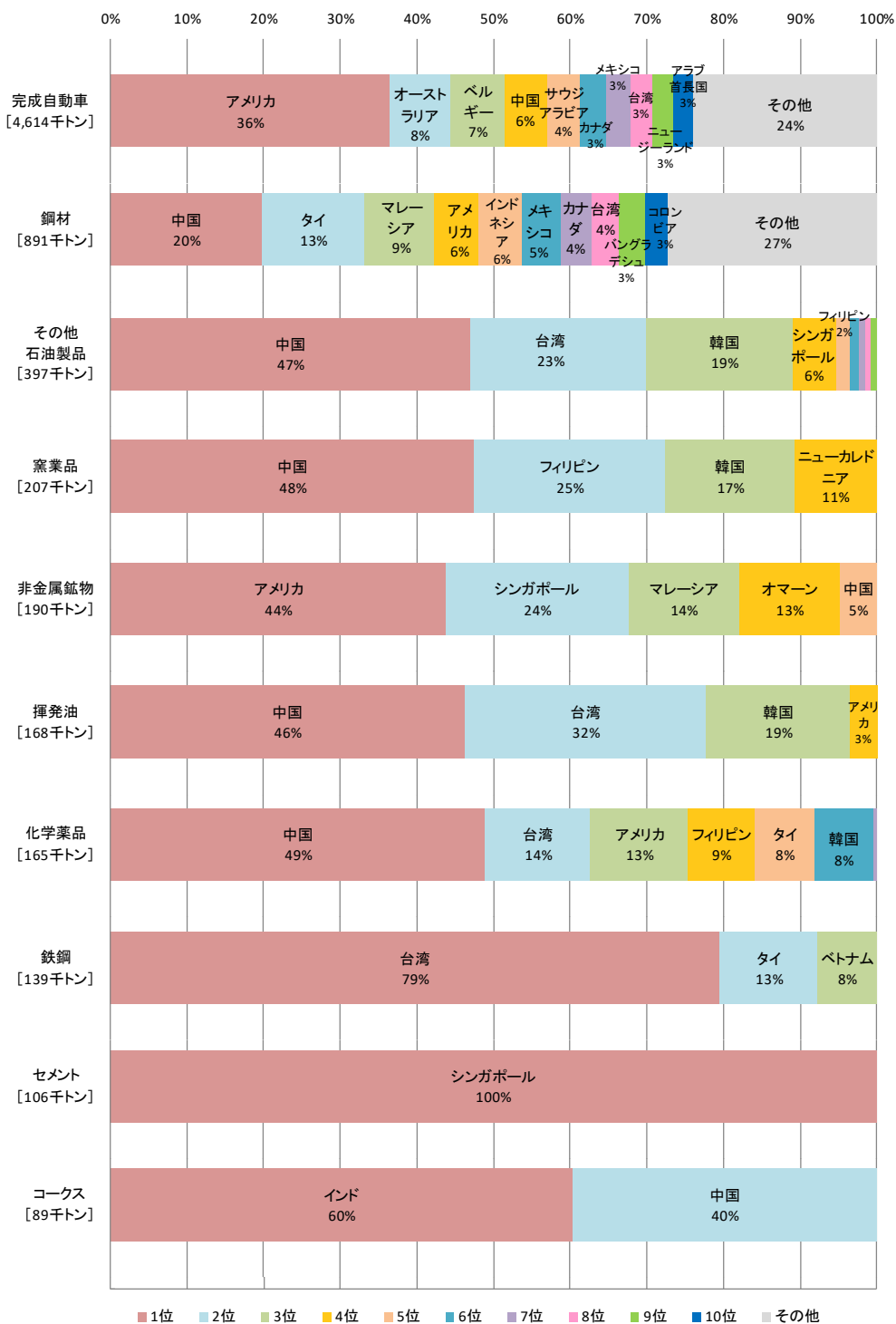
※10 位以下をその他とする

図-3.1.13 移入：品目別仕向地別貨物量

(4) 品目別仕出(向) 国別貨物量 (海外)

1) 仕向国 (輸出) 上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、アメリカが 36%、オーストラリアが 8%、ベルギーが 7%であった。2 位の鋼材では、中国が 20%、タイが 13%、マレーシアが 9%であった。3 位のその他石油製品では、中国が 47%、台湾が 23%、韓国が 19%であった。全体的に、仕向国は、中国、韓国をはじめ東南アジア中心であった。



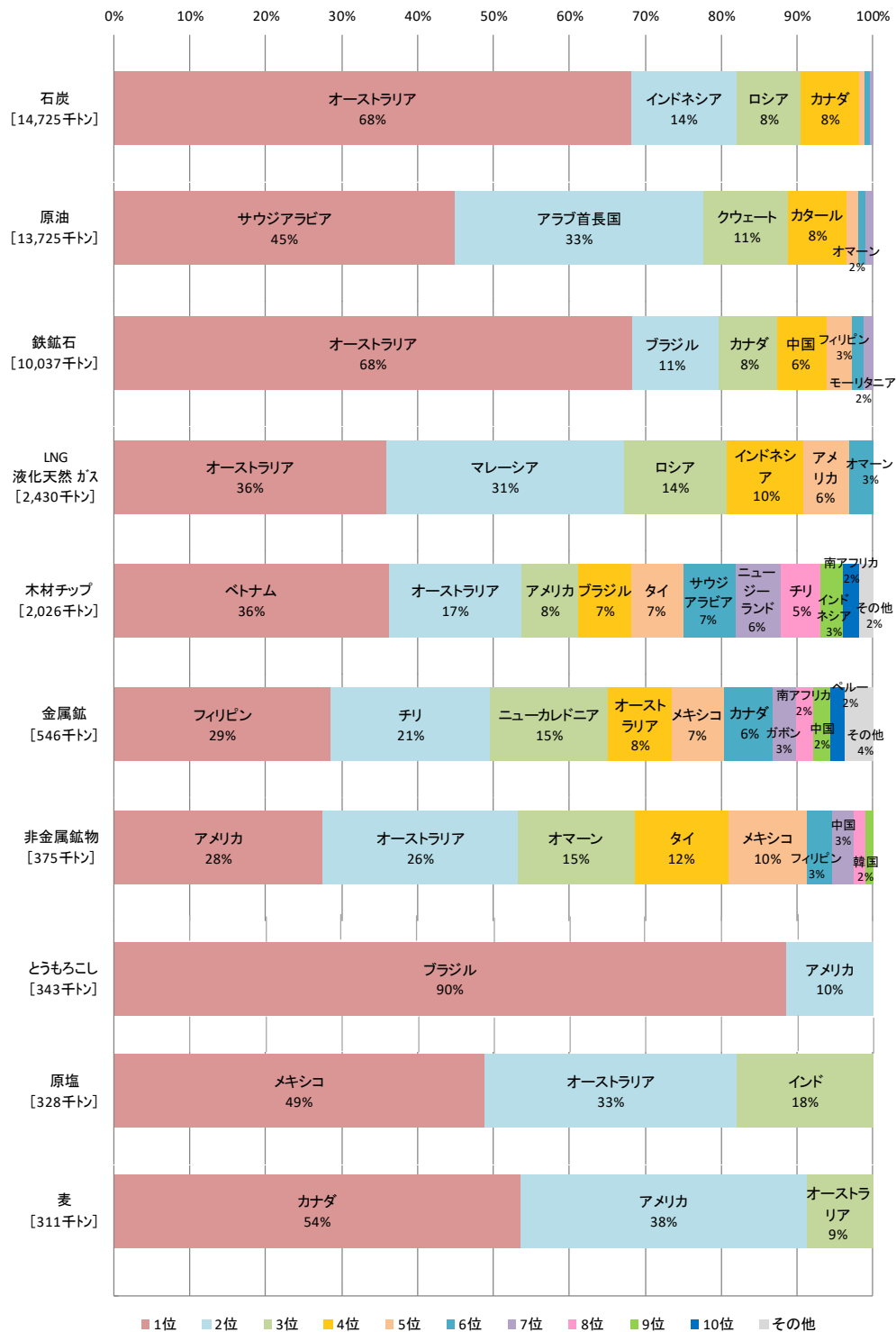
※完成自動車については1台10トンに換算した
 ※10位以下をその他とする

図-3.1.14 輸出：品目別仕向国別貨物量

2) 仕出国（輸入）上位 10 品目

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、オーストラリアが 68%、インドネシアが 14%、ロシアが 8%であった。2 位の原油では、サウジアラビアが 45%、アラブ首長国が 33%、クウェートが 11%で中東産油国中心あった。3 位の鉄鉱石では、オーストラリアが 68%、ブラジルが 11%、カナダが 8%であった。

品目毎に 1 位、2 位の上位仕出国が高いシェアを占めている傾向がみられた。



※10 位以下をその他とする

図-3.1.15 輸入：品目別仕出国別貨物量

(5) 出(入)荷施設別貨物量

輸出は、モータープールが45%、倉庫が13%、タンクが10%となった。

輸入は、野積場が41%、貯油槽が27%となった。

移出と移入はほぼ同じ傾向を示し、貯油槽が21%、サイロが15%、14%、タンクが11%、13%、野積場とモータープールが共に12%となった。

表-3.1.4 出(入)荷施設別貨物量

施設名	輸出		輸入		移出		移入	
	貨物量(トン)	割合	貨物量(トン)	割合	貨物量(トン)	割合	貨物量(トン)	割合
倉庫	989,018	13.1%	919,939	1.9%	2,052,844	8.8%	1,904,214	8.2%
貯油槽	153,407	2.0%	13,057,012	27.4%	4,801,883	20.6%	4,990,741	21.4%
危険物置場	0	0.0%	0	0.0%	3,780	0.0%	13,666	0.1%
タンク	749,285	9.9%	3,030,029	6.4%	2,631,953	11.3%	3,050,780	13.1%
野積場	440,957	5.9%	19,632,004	41.2%	2,840,004	12.2%	2,794,718	12.0%
水面貯木場	1,749	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
サイロ	316,368	4.2%	1,663,326	3.5%	3,591,971	15.4%	3,275,083	14.0%
モータープール	3,390,541	45.0%	209,274	0.4%	2,817,450	12.1%	2,816,460	12.1%
その他	1,213,781	16.1%	375,613	0.8%	503,923	2.2%	366,383	1.6%
不明	282,563	3.7%	8,765,277	18.4%	4,104,545	17.6%	4,136,308	17.7%
合計	7,537,669	100.0%	47,652,474	100.0%	23,348,353	100.0%	23,348,353	100.0%

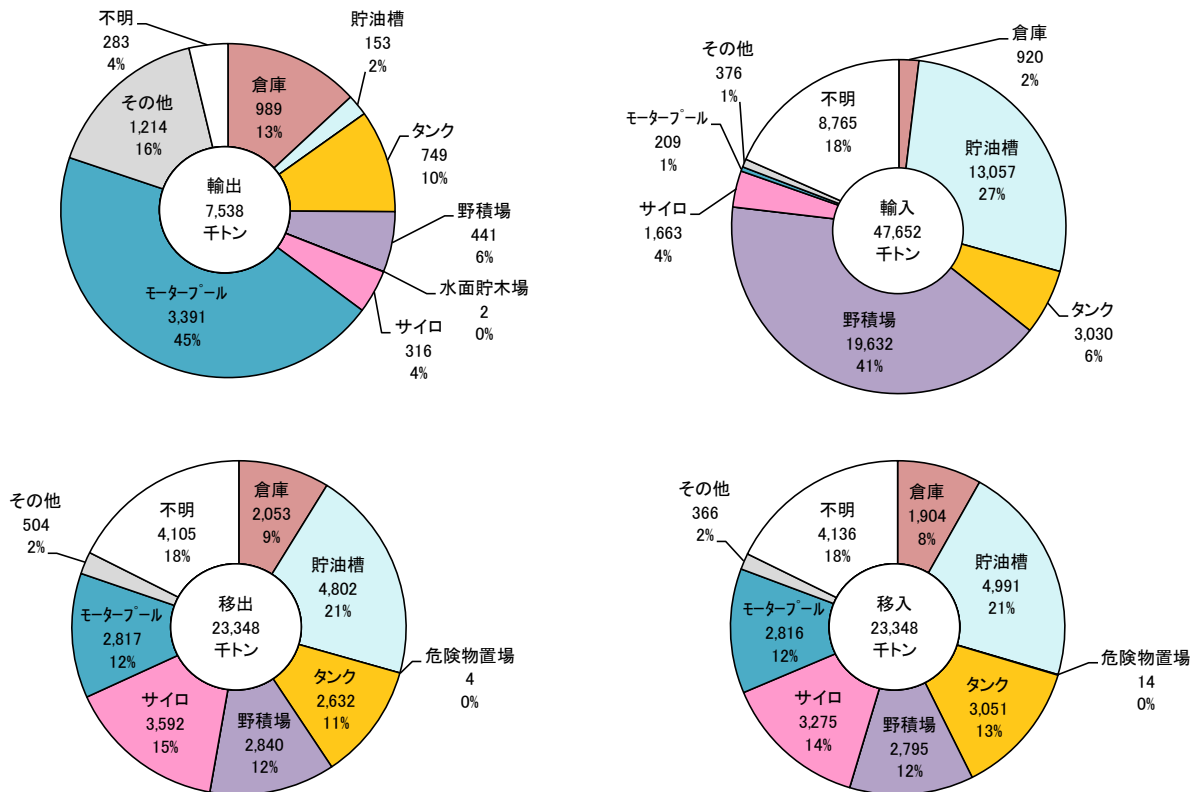


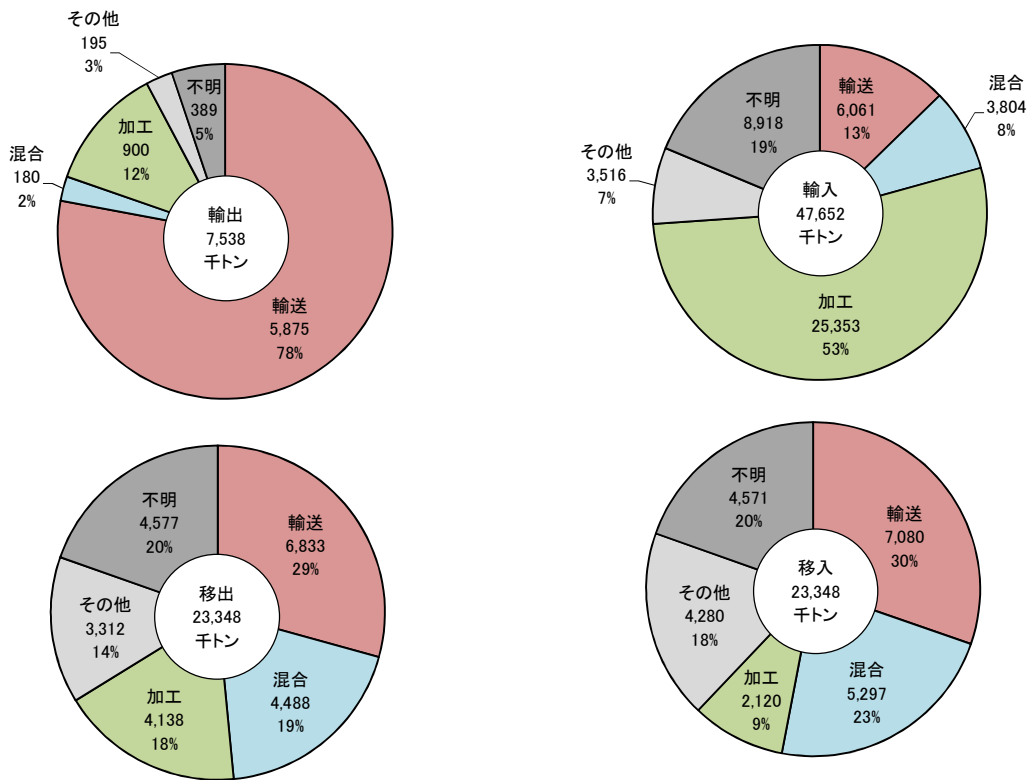
図-3.1.16 出(入)荷施設別貨物量

(6) 出(入) 荷施設での貨物の取扱い

輸出は、輸送が78%、加工が12%となり、輸入は、加工が53%、輸送が13%となった。
 移出は、輸送が29%、混合が19%となり、移入は、輸送が30%、混合が23%となった。
 出(入) 荷施設での貨物の取扱いで「輸送」と回答したものを「内陸流動あり」とし、「混合・加工・その他」と回答したものを「内陸流動なし」とする。

表-3.1.5 出(入) 施設での貨物の取扱量

種別	輸出		輸入		移出		移入	
	貨物量(ト)	割合	貨物量(ト)	割合	貨物量(ト)	割合	貨物量(ト)	割合
輸送	5,874,716	77.9%	6,061,046	12.7%	6,833,496	29.3%	7,079,887	30.3%
混合	179,830	2.4%	3,803,943	8.0%	4,487,645	19.2%	5,297,428	22.7%
加工	899,544	11.9%	25,352,930	53.2%	4,138,002	17.7%	2,120,426	9.1%
その他	194,652	2.6%	3,516,055	7.4%	3,311,802	14.2%	4,279,763	18.3%
不明	388,927	5.2%	8,918,500	18.7%	4,577,408	19.6%	4,570,849	19.6%
合計	7,537,669	100.0%	47,652,474	100.0%	23,348,353	100.0%	23,348,353	100.0%



※「その他」は輸送される予定であるが調査期間内に輸送されなかったもの等

図-3.1.17 出(入) 施設での貨物の取扱量

3-2. 船型、寄港回数等

(1) 船型別隻数

船型別隻数とは、11月に寄港した船舶の数であって、同一船舶が寄港しても1カウントとして
いる。

輸出では、10,001～20,000トンが42%、5,001～10,000トンが18%であった。輸入では、75,001
～100,000トンが20%、200,001トン超が14%であった。30,001～200,001トン超までの合計が
65%と大型の船舶が多い。

内航では、20,000トン以下が75%、そのうち2,000トン以下が44%であった。

株式会社東洋通信信号社より購入した船舶諸元データと照合し重量トン数(D/T)を確認した。

表-3.2.1 利用船舶重量トン数別隻数

番号	区分	輸出		輸入		内航		合計	
		隻数	割合	隻数	割合	隻数	割合	隻数	割合
1	1,000トン以下			1	0.2%	484	25.3%	485	15.9%
2	1,001～2,000トン	12	2.5%	13	2.0%	842	44.0%	867	28.4%
3	2,001～3,000トン	12	2.5%	14	2.1%	176	9.2%	202	6.6%
4	3,001～5,000トン	49	10.1%	27	4.1%	128	6.7%	204	6.7%
5	5,001～10,000トン	86	17.8%	34	5.2%	117	6.1%	237	7.8%
6	10,001～20,000トン	204	42.1%	80	12.1%	17	0.9%	301	9.8%
7	20,001～30,000トン	61	12.6%	45	6.8%	8	0.4%	114	3.7%
8	30,001～50,000トン	29	6.0%	72	10.9%			101	3.3%
9	50,001～75,000トン	16	3.3%	85	12.9%			101	3.3%
10	75,001～100,000トン			134	20.3%			134	4.4%
11	100,001～200,000トン			44	6.7%			44	1.4%
12	200,001トン超			91	13.8%			91	3.0%
	不明	15	3.1%	20	3.0%	141	7.4%	176	5.8%
	合計	484	100.0%	660	100.0%	1,913	100.0%	3,057	100.0%

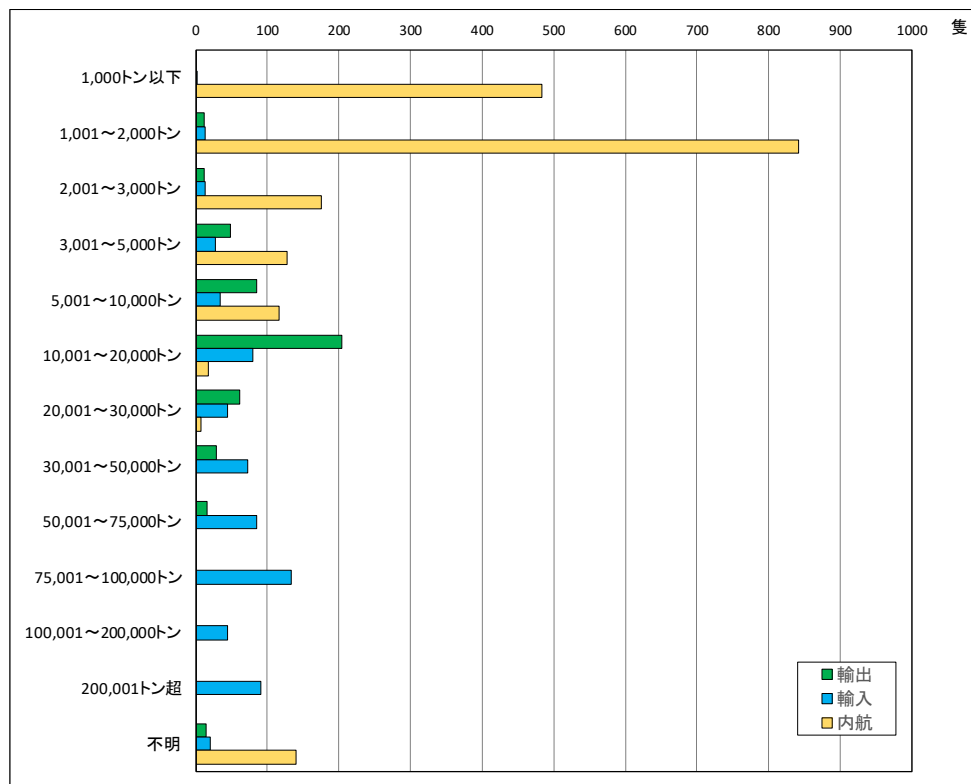


図-3.2.1 利用船舶重量トン数別隻数

1) 輸出 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、20,001～30,000 トンが 63%、10,001～20,000 トンが 26%であった。2 位の鋼材では、10,001～20,000 トンが 51%であった。3 位のその他石油製品では、5,001～10,000 トンが 43%、3,001～5,000 トンが 30%であった。



※不明を除いて作成

図-3.2.2 輸出：品目別重量トン数別隻数

2) 輸入 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の石炭では、75,001～100,000 トンが 57%と大型の船舶が多い。2 位の原油では、200,001 トン超が 96%とほとんどが 20 万トン以上の超大型船である。3 位の鉄鉱石では、200,001 トン超が 47%、100,001～200,000 トンが 33%であった。

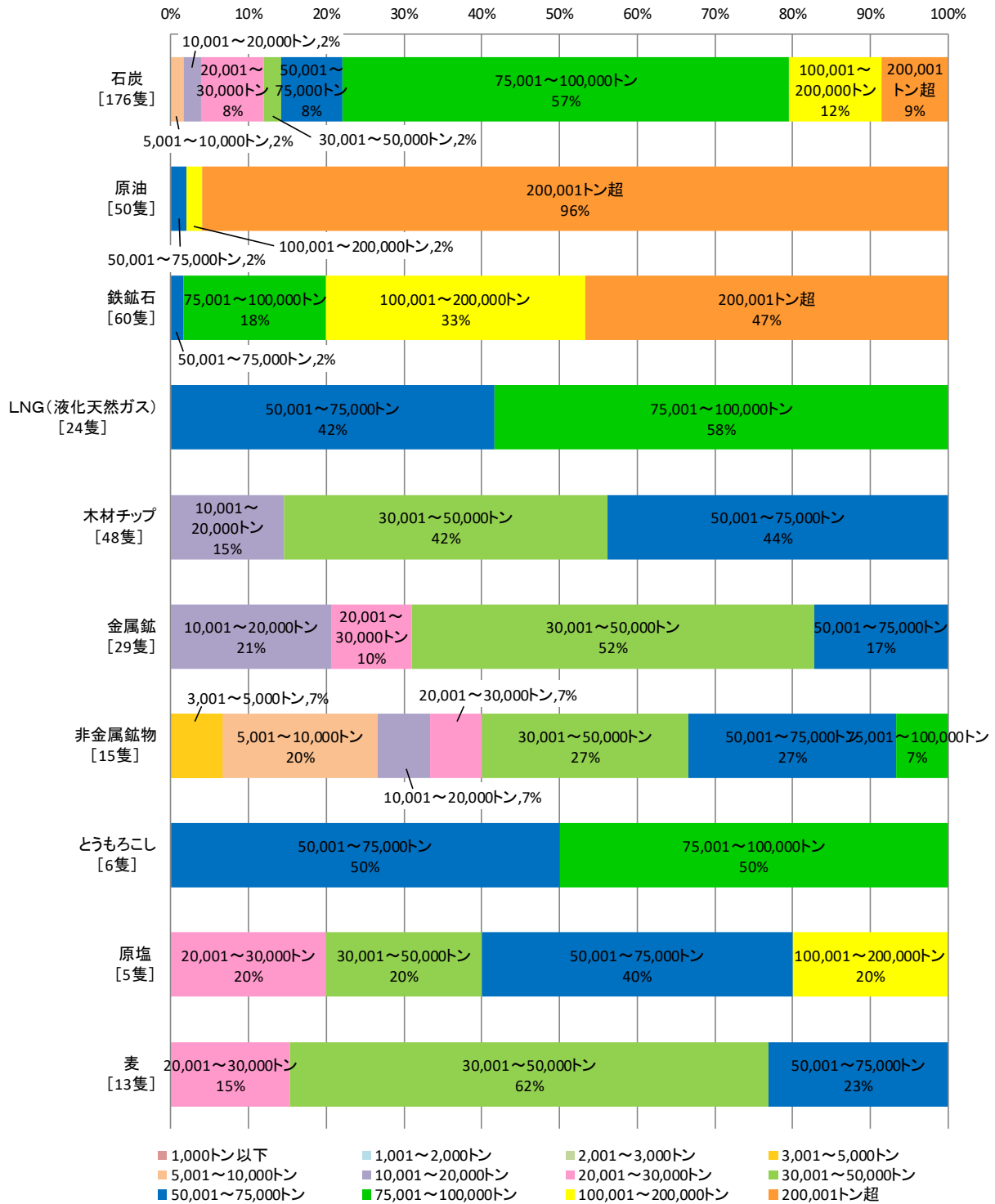
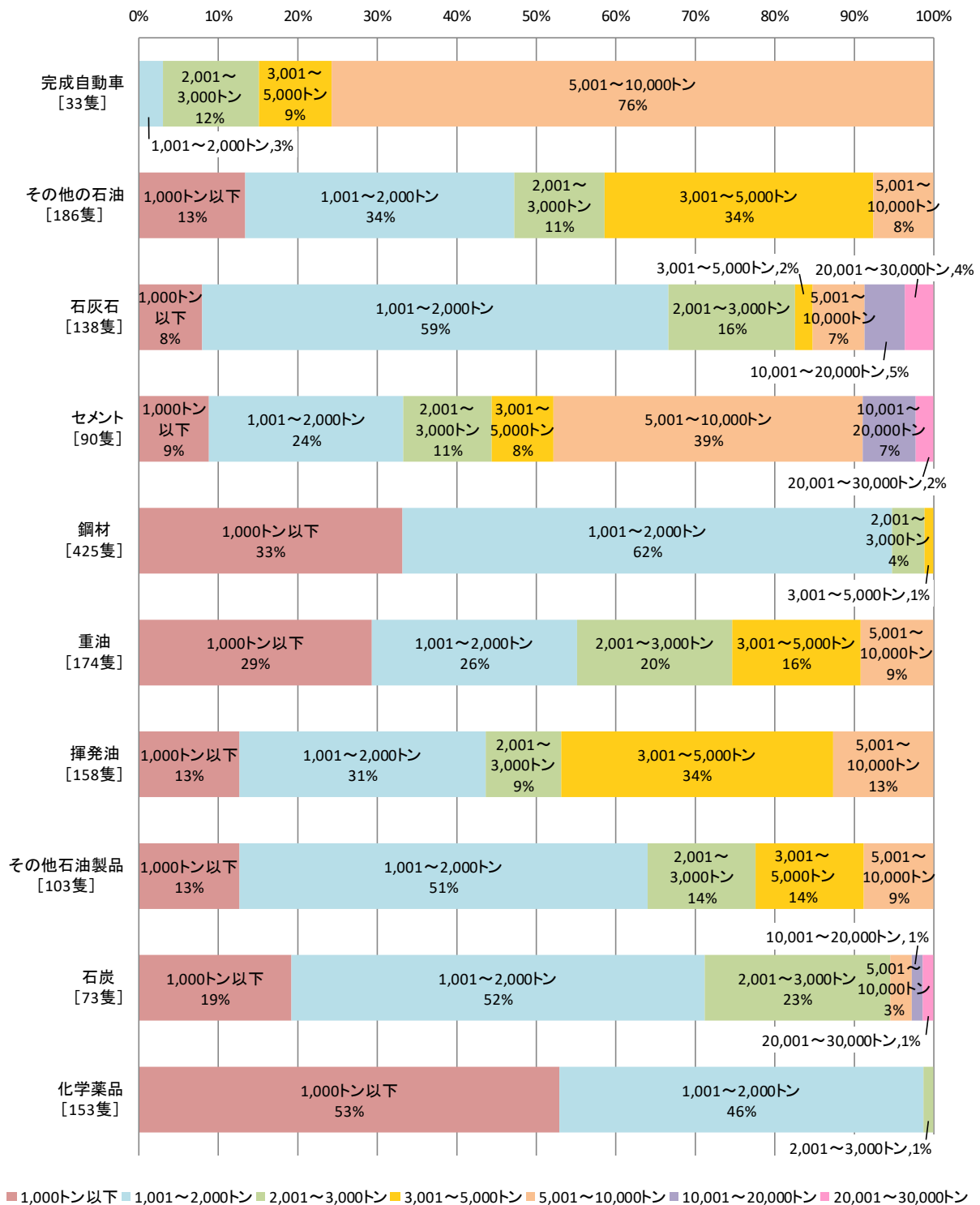


図-3.2.3 輸入：品目別重量トン数別隻数

※不明を除いて作成

3) 内貿 (上位 10 品目)

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1 位の完成自動車では、5,001～10,000 トンが 76%、2,001～3,000 トンが 12%であった。2 位のその他の石油では、3,001～5,000 トン、1,001～2,000 トンが 34%であった。3 位の石灰石では、1,001～2,000 トンが 59%、2,001～3,000 トンが 16%であった。



※不明を除いて作成

図-3.2.4 内貿：品目別重量トン数別隻数

(2) 寄港回数

1 航海とは、貨物が船積されてから、船積貨物が全て船卸されて積載貨物が0になるまでとし、その間における積港数、卸港数を以下のとおり整理。

輸出入内航いずれも、1港積・1港卸の寄港パターンが最も多く、輸出は54%、輸入は71%、内航は88%であった。特に内航でその割合が高い。

表-3.2.2 輸出：船舶寄港回数

寄港パターン	航海数	割合
1港積1港卸	326	54%
1港積2港卸	45	7%
1港積3港卸	28	5%
1港積4港卸以上	24	4%
2港積1港卸	30	5%
2港積2港卸	21	3%
2港積3港卸	19	3%
2港積4港卸以上	34	6%
3港積1港卸	2	0.3%
3港積2港卸	4	1%
3港積3港卸	9	1%
3港積4港卸以上	26	4%
4港積以上	37	6%
合計	605	100.0%

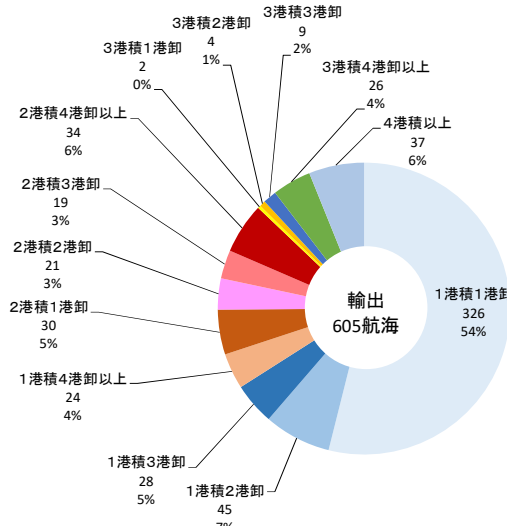


図-3.2.5 輸出：船舶寄港回数

表-3.2.3 輸入：船舶寄港回数

寄港パターン	航海数	割合
1港積1港卸	531	71%
1港積2港卸	108	14%
1港積3港卸	26	3%
1港積4港卸以上	3	0.4%
2港積1港卸	17	2%
2港積2港卸	25	3%
2港積3港卸	11	1%
2港積4港卸以上	1	0.1%
3港積1港卸	5	1%
3港積2港卸	8	1%
3港積3港卸	3	0.4%
3港積4港卸以上	1	0.1%
4港積以上	8	1%
合計	747	100.0%

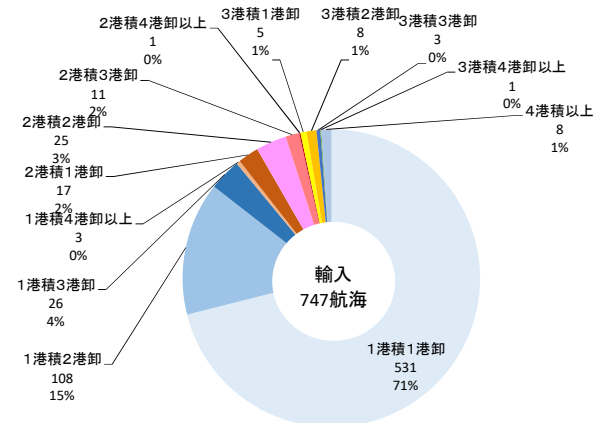


図-3.2.6 輸入：船舶寄港回数

表-3.2.4 内航：船舶寄港回数

寄港パターン	航海数	割合
1港積1港卸	11,937	88%
1港積2港卸	967	7%
1港積3港卸	124	1%
1港積4港卸以上	40	0.3%
2港積1港卸	212	2%
2港積2港卸	137	1%
2港積3港卸	47	0.3%
2港積4港卸以上	26	0.2%
3港積1港卸	5	0.0%
3港積2港卸	3	0.0%
3港積3港卸	6	0.0%
3港積4港卸以上	21	0.2%
4港積以上	41	0.3%
合計	13,566	100.0%

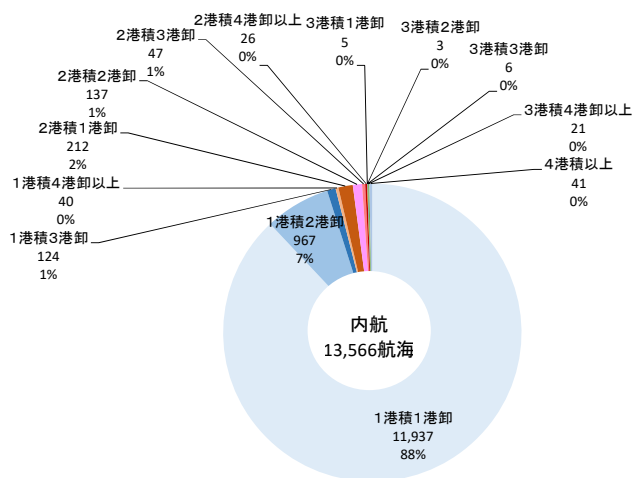


図-3.2.7 内航：船舶寄港回数

1) 輸出 (上位 10 品目)

完成自動車は3港積以上が33%で次いで1港積1港卸が14%となっている。他の品目に比べて複数寄港することが多く、2港積1港卸以上が全体の約6割を占めている。

なお、完成自動車の輸送は積卸を繰り返しており船腹が空になることのないケースもある。



図-3.2.8 輸出：品目別寄港数

2) 輸入（上位10品目）

取扱貨物量上位3品目を見ると、1位の石炭では、1港積・1港卸が84%であった。2位の原油では、1港積・1港卸14%、複数港積・複数港卸が60%であった。3位の鉄鉱石では、1港積1港卸が68%であった。

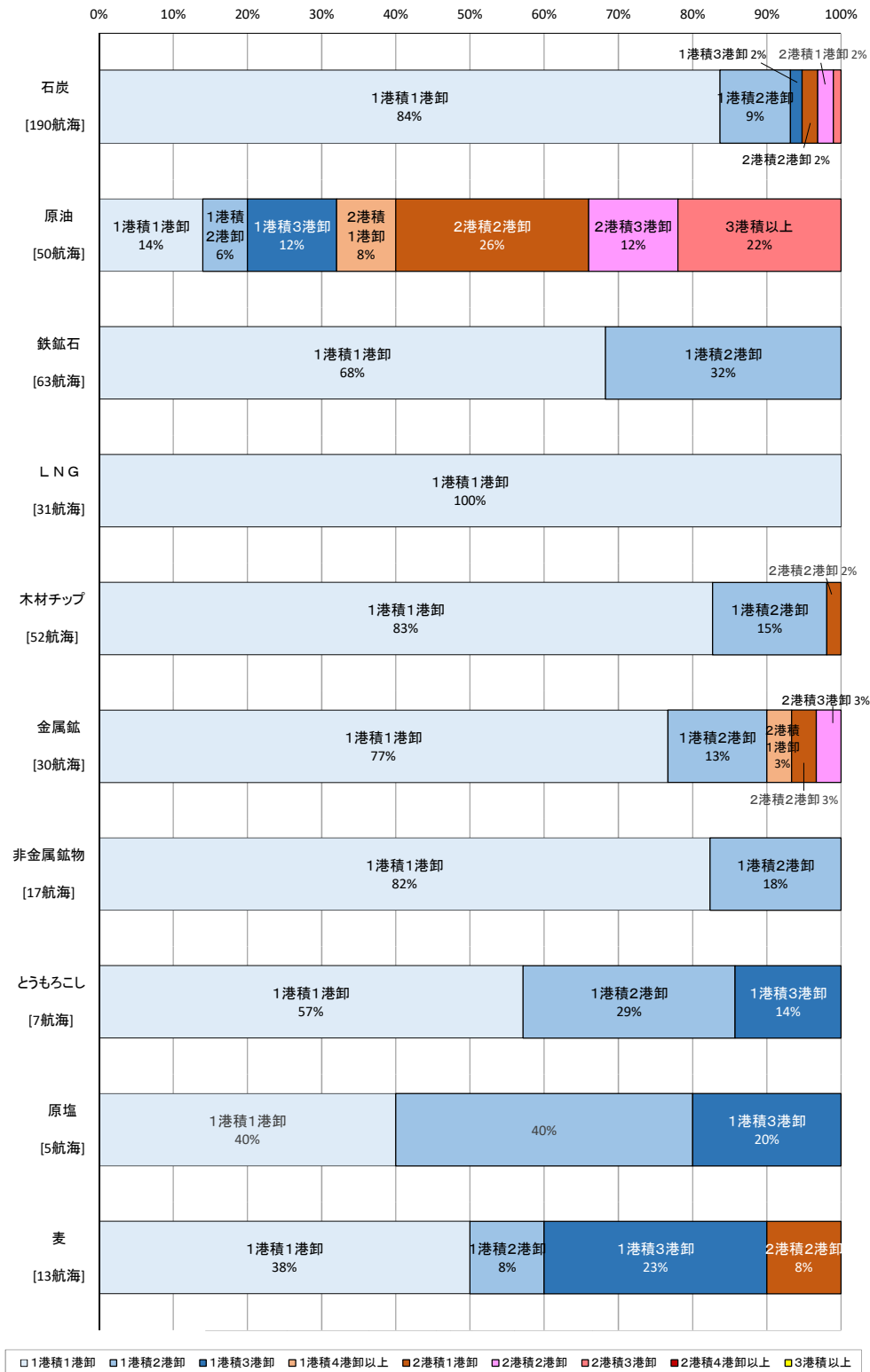


図-3.2.9 輸入：品目別寄港数

3) 内貿（上位10品目）

取扱貨物量上位 3 品目を見ると、1位の完成自動車では、1港積・1港卸が47%、複数港積・複数港卸が27%であった。2位のその他の石油では、1港積・1港卸が94%であった。3位の石灰石では、1港積・1港卸が99%であった。

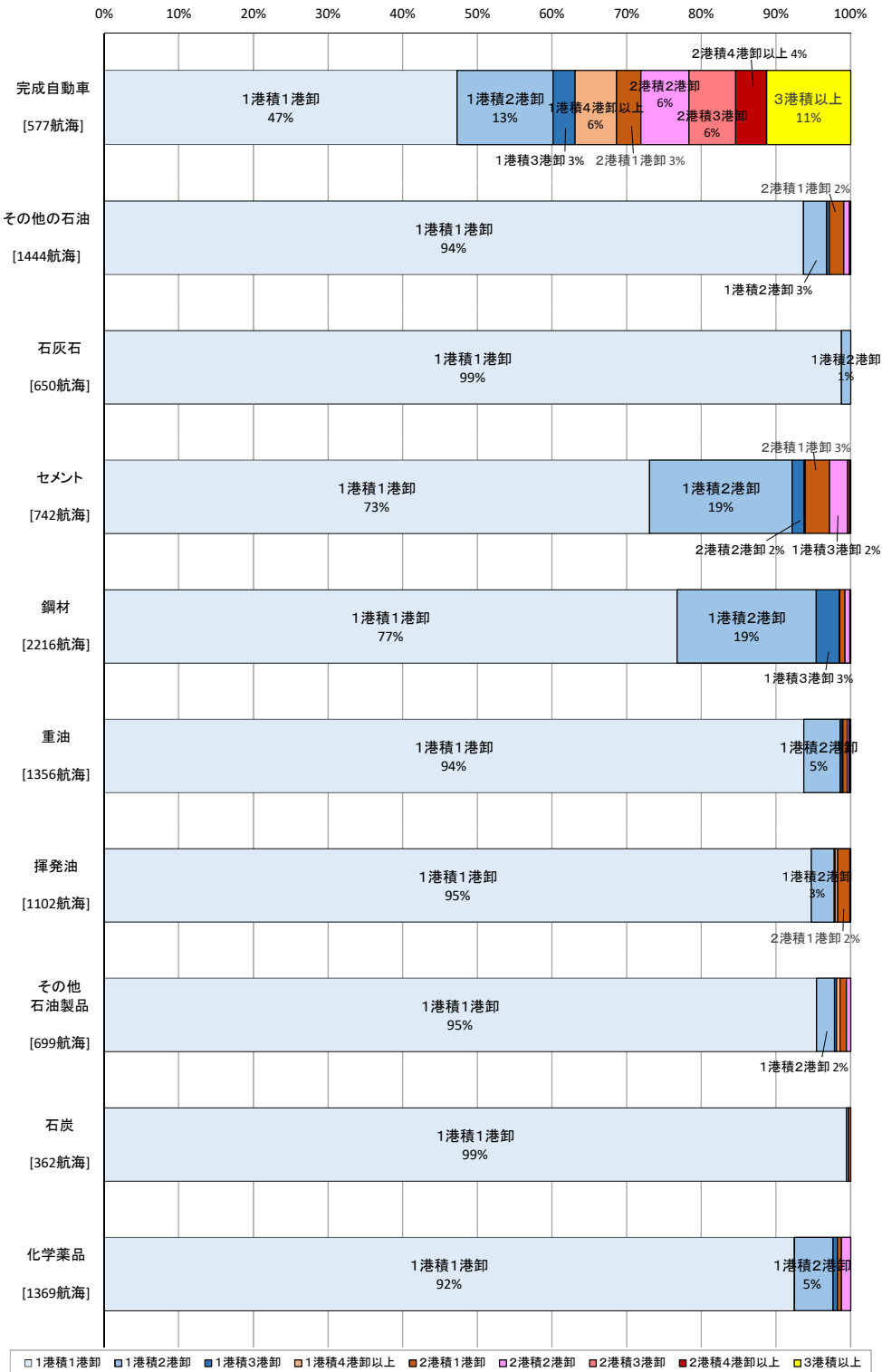


図-3.2.10 内貿：品目別寄港数

3-3. 内陸及び海上の流動状況

1) 輸出

流動状況を地域ブロック別にみると、船積港が所在する港湾の地方ブロックを背後圏とする貨物がほとんどであり、他ブロックの港湾から船積される貨物は少なく、この点がコンテナ貨物の流動と異なるバルク貨物の特徴といえる。

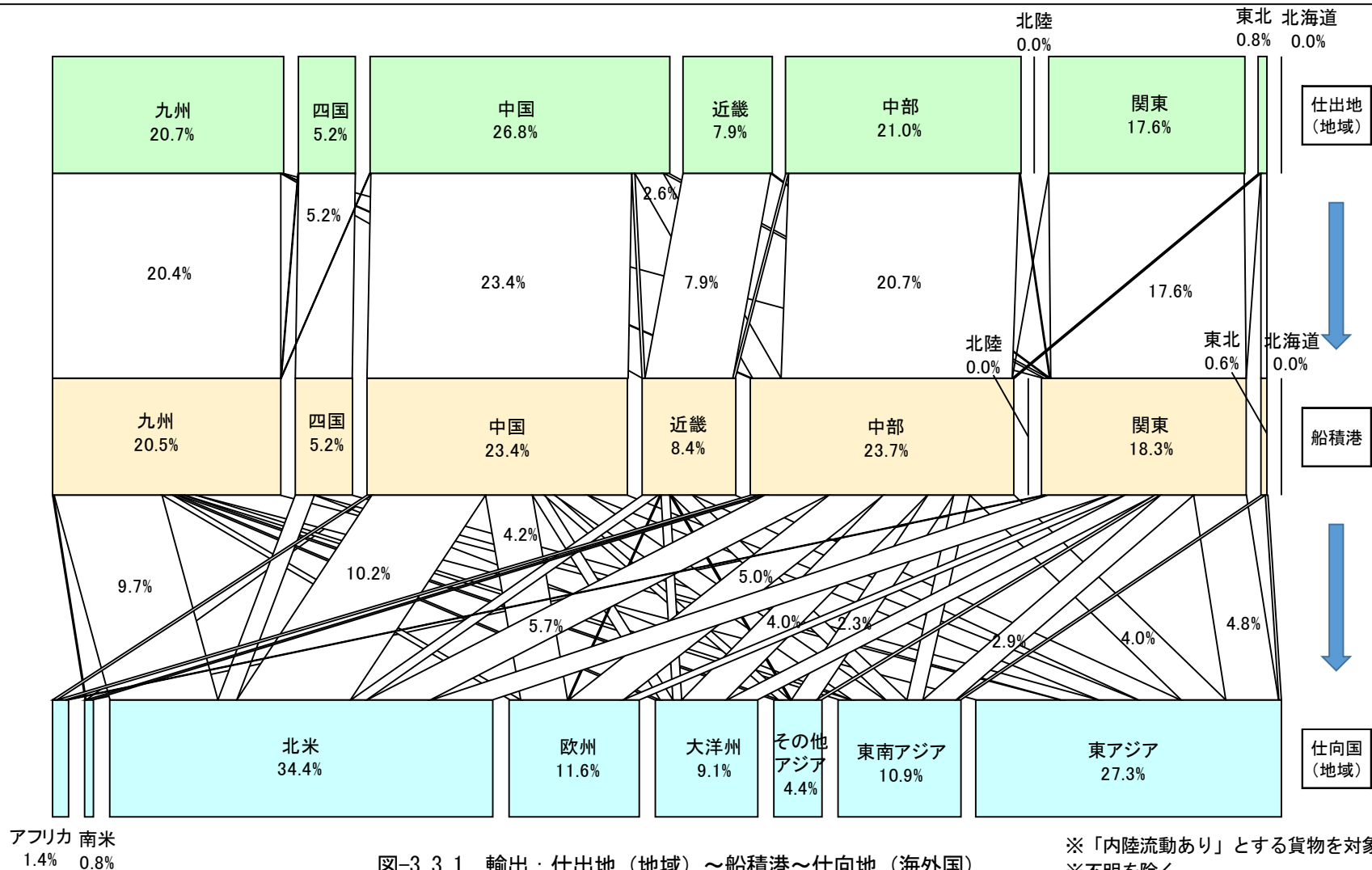


図-3.3.1 輸出：仕出地（地域）～船積港～仕向地（海外国）

※「内陸流動あり」とする貨物を対象
※不明を除く

2) 輸入

地域ブロック別にみると、船卸港が所在する港湾の地方ブロックで消費される貨物がほとんどであり、他ブロックの港湾で船積される貨物は極めて少なく、輸出よりもその傾向が強く窺える。大型船舶で大量に輸入を行うバルク貨物の多くは、最寄の港湾を利用している点が特徴といえる。

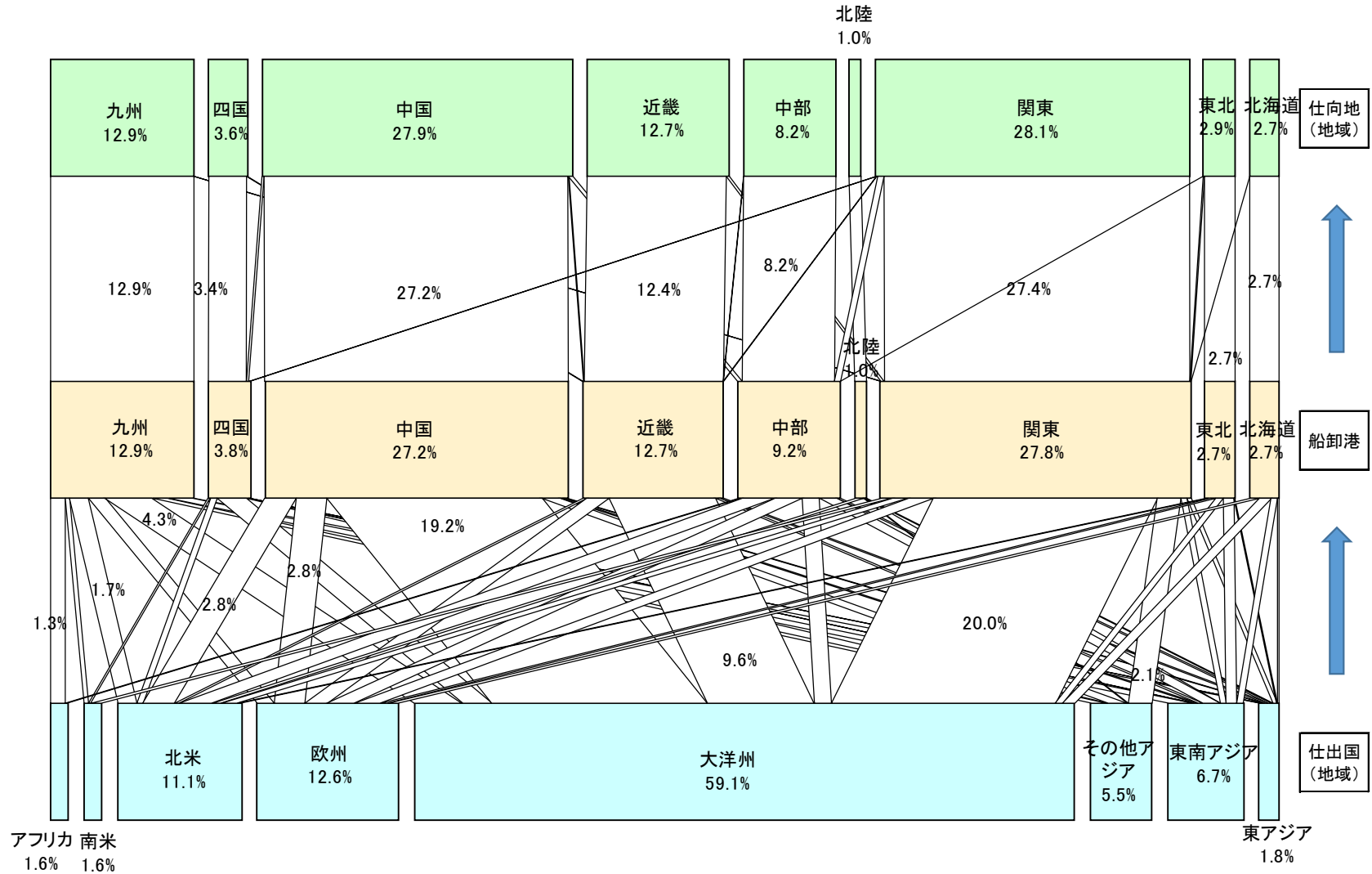


図-3.3.2 輸入：仕出地（海外国）～船卸港～仕向地（地域）

※「内陸流動あり」とする貨物を対象
 ※不明を除く

3) 内航

内航も外航と同様の流動であり、地域ブロック別にみると、船積港・船卸港が所在する港湾の地方ブロックで生産・消費される貨物がほとんどであり、他ブロックの港湾を利用する貨物は少ない。

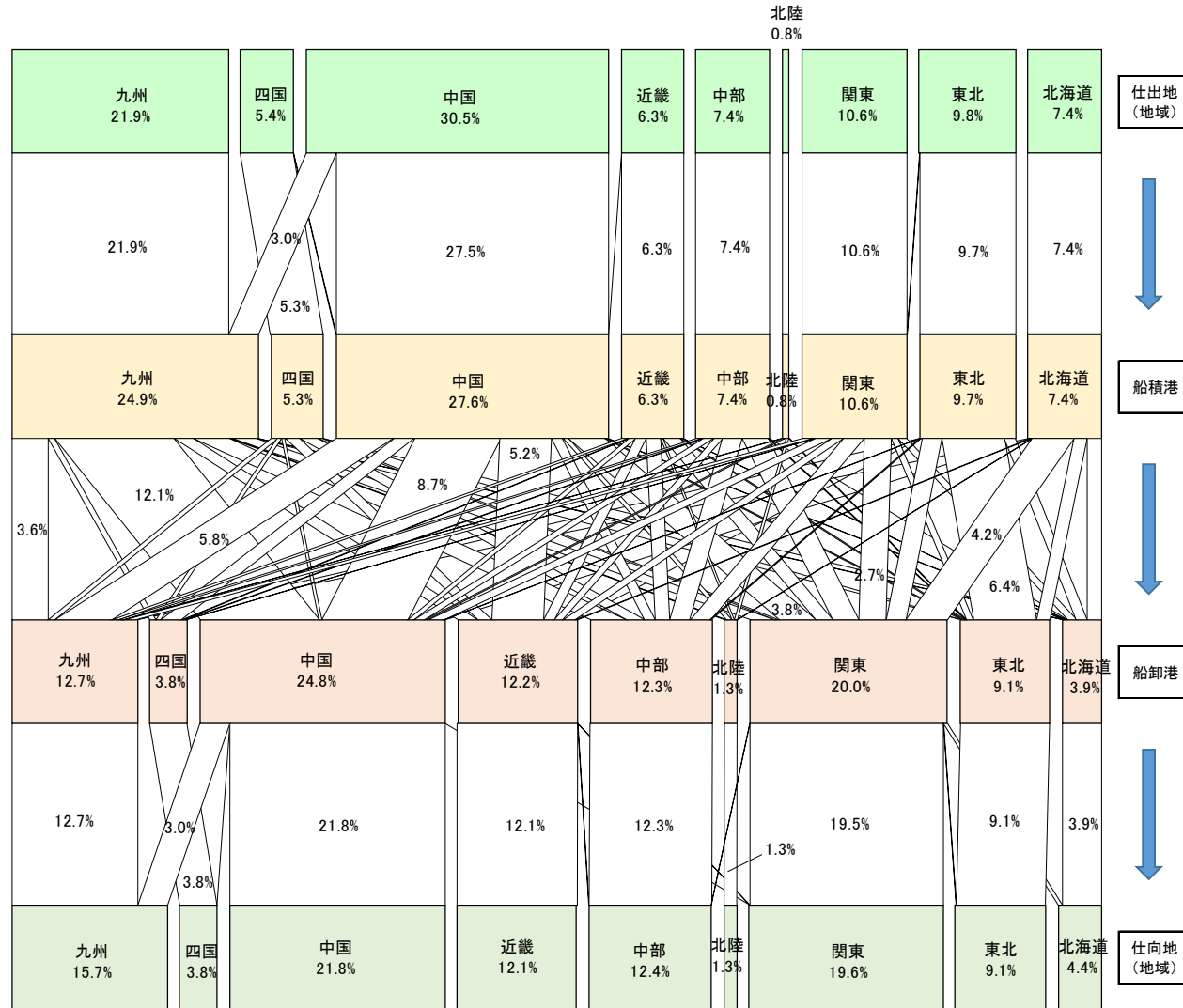


図-3.3.3 内航：仕出地（地域）～船積港～船卸港～仕向地（地域）

※「内陸流動あり」とする貨物を対象
 ※不明を除く

参考資料

品目コード表

注) 船積(船卸)の貨物の品目をご回答の際には、この品目コード表に基づく中分類のコード(3桁)または具体的な品目名をご記入下さい。

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示				
1	農水産品	011	麦	大麦	1	農水産品	051	その他農産品	もっこ				
				裸麦					麦わら				
				小麦					種子				
				えん麦					球根				
				らい麦					球根				
				精麦					花き				
				メスリン					農産加工品				
				オート					他の農産品				
				021					米	もみ	061	羊毛	羊毛
										玄米		洗上羊毛	
		精米	その他畜産品		馬								
		砕精米			牛								
		022	とうもろこし	とうもろこし	豚								
				大豆	七面鳥								
		023	豆類	小豆	あひる								
				えんどう	馬肉								
				あわ	牛肉								
		024	その他雑穀	ひえ	豚肉								
				もろこし(マイロ)	鳥肉								
				そば	未加工・加工前の牛乳								
				カナリシード	未加工・加工前の山羊乳								
				鶏卵									
		031	野菜・果物	甘しょ	071		その他畜産品	うずらの卵					
				馬鈴しょ				副産糸					
				種馬鈴しょ				山羊毛					
				大根				牛皮					
				蓮根				馬皮					
				玉ねぎ				原毛皮					
				キャベツ				原毛布					
				きのこ				他の畜産品					
				みかん				犬					
				リンゴ				猫					
				バナナ				狐					
				なし				モルモット					
				もも				動物性粗繊維					
				乾がき				081	水産品	イカ			
				くり						タコ			
				冷凍果実及び冷凍ナッツ						エビ			
				041						綿花	綿花	うに	
		コットンリンター	まぐろ										
		繰綿	魚介類										
		ボーンボックス綿	冷凍魚介類(缶・びん詰は含まず)										
		アスクレピアス綿	にぼし										
		051	その他農産品	大麻	魚卵								
				マニラ麻	たらこ								
				へちま	貝柱								
				しゅろ	かつお節								
さとうきび	こんぶ												
綿実	のり												
茶葉	のり加工品												
コーヒー豆	貝殻												
こうぞ	金魚												
はっか	真珠												
さんしょう	他の水産品												
こんにやくいも	2			林産品	091	原木	製材用丸太						
なわ							合単板丸太						
むしろ							足場用材						
こも							銘木原木						
種子							092	製材	板類				
球根					床板								
花き		押角											
杭		耳付き材											
ひき割り類		101	樹脂類		生ゴム								
ひき角類													

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示		
2	林産品	101	樹脂類	天然樹脂	3	鉱産品	162	石材	とうろう		
				天然ゴム					石碑		
				ラテックス					割石		
				111			木材チップ	類似ゴム	171	原油	原油
								生松脂			瀝青油
								生漆			タールサンド
								ラック			天然揮発油
		112	その他林産品	木材チップ			天然ガス(ガス状)				
				木くず			天然アスファルト				
				木粉			廃原油				
				果樹			天然鉱ろう				
				樹木の根			りん鉱石				
				枝			グアノ				
				竹			磷酸カリウム				
				他の樹木			りん酸アルミニウム				
		121	薪炭	かん木			191	石灰石			石灰石(大理石を除く)
				つる							セメント用石灰石
				苗木					鉄鋼用石灰石		
				花木					201	原塩	岩塩
				竹材							天日塩
				しばまき							にがり
3	鉱産品			131	石炭	そだ			211	非金属鉱物	かん水
		木炭	チリ硝石								
		黒炭	陶石								
		加工木炭	石こう								
		たどん	けい砂								
		オガライト	ドロマイト								
		141	鉄鉱石			無煙炭	水晶				
				鉄鉱石	ダイヤモンド						
				砂鉄鉱	粘土						
		151	金属鉱	一般炭	221	鉄鋼	ウラン鉱				
亜炭	火山灰										
泥炭	螢石										
草炭	長石										
鉄鉱石	鉄鋼スラグ										
砂鉄鉱	銅スラグ										
硫酸焼鉱	フェロニッケルスラグ										
4	金属機械工業品	161	砂利・砂	硫化鉄粗鉱	222	鋼材	亜鉛、鉛スラグ				
				磁鉄精粗鉱			銑鉄				
				マンガン鉱			原鉄				
				クロム鉱			鑄鉄品				
				タングステン鉱			フェロアロイ				
		162	石材	銅鉱	231	非鉄金属	粗鋼				
				鉛鉱			普通鋼半製品				
				亜鉛鉱			特殊鋼半製品				
				ニッケル鉱			形鋼				
				チタン鉱			棒鋼				
砂利	鋼板										
バラスト	帯鋼										
碎石	線材										
軽量骨材	鋼管										
河砂	銅										
浜砂	鉛										
洗砂	亜鉛										
黒砂	すず										
壁砂	ニッケル										
銀砂	アルミニウム										
碎砂	非鉄金属										
スラグ	銅線										
花こう岩	アルミニウム線										
大理石	ウラン										
玉石	マンガン										
							電カケーブル				

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示		
4	金属機械工業品	231	非鉄金属	伸銅品	4	金属機械工業品	256	その他輸送機械	操船装置		
				電線					ぎ装品		
				マンガン					飛行機		
				地金					回転翼機		
				合金					飛行船		
			241	金属製品					鉄骨	発動機	
									鉄塔	プロペラ	
									鉄柱	飛行機等の機体部品	
									橋梁	産業機械	水管ボイラー
									金属扉		燃焼装置
		サッシ					ジェットエンジン				
		ブラインド					蒸気タービン				
		家屋の屋根					ラジエータ				
		釘					原子炉				
		針金					金属加工機械				
		ねじ					圧延機				
		ボルト					鍛造設備				
		金網					エレベーター				
		ワイヤロープ					ろ過器				
		刃物					冷凍機				
		工具					ミシン				
		大工道具					鉱山機械				
		医療用鋼製器具					破砕機				
		パネ					掘削機				
		鍵					クレーン				
		ぼうろう鉄器	コンクリートミキサー								
		綿材製品	農業用機械								
		他の金属製品	トラクター								
		251	鉄道車両	機関車			空調装置				
				電車			他の産業機械				
				客車			電気機械	回転電気機械			
				貨物車				変圧器			
		車両部品	配電盤								
		252	完成自動車	乗用自動車				照明器具			
				乗合自動車				電気機器			
				貨物自動車				電動工具			
		シャーシ	有線通信装置								
		253	その他輸送用車両	動力付運搬車				無線通信装置			
				フォークリフト				コンピューター			
				産業用運搬車				X線装置			
				構内作業車			溶解炉				
		装甲車両	半導体								
		254	二輪自動車	オートバイ			測定・光学・医療用機械	測量機			
				モータ・スクータ				計量器			
				二輪車用側車				機械時計			
		255	自動車部品	ガンリン機関				望遠鏡			
ディーゼル機関	カメラ										
電動機	ガスマスク										
自動車車体	事務用機器			電子卓上計算							
機械部品				複写機							
シャーシ用部品		ワードプロセッサ									
自動車用部品	その他機械	ドライクリーニング装置									
256		その他輸送機械	自転車	自動販売機							
			リヤカー	救命器具							
			荷車	消火装置							
			車椅子	鉄道信号機							
			そり	温水暖房装置							
			客船	ストーブ							
			はしけ	ガスバーナ							
			ヨット	5	化学工業品	271	陶磁器	碓子			
			漁船					食器			
	潜水艦		浴槽								
船舶用機器	便器										

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示
5	化学工業品	271	陶磁器	タイル	5	化学工業品	341	石炭製品	煉炭
			セメント	ポルトランドセメント					豆炭
		281		シリカセメント					鉱物性タール
				高炉セメント					ピッチコークス
				アルミナセメント					
				他のセメント					
		291	ガラス類	普通板ガラス					
				変り板ガラス					
				ステンドガラス					
				ガラス塊					
				ガラス粉					
				ガラス棒					
				ガラス球					
				ガラス管					
				ガラス食器					
				光ファイバー					
				ガラス製品					
		301	窯業品	普通れんが					
				耐火れんが					
				コンクリート製品					
				石綿スレート					
				ALC					
				生石灰					
				消石灰					
				黒石灰					
				苦土石灰					
				電極					
				炭素棒					
				石綿布					
				活性炭					
				研磨材					
				コンパウンド					
				石綿製品					
				耐火モルタル					
				セメント拡散剤					
				アスファルト					
				るつぼ					
				セメントクリンカー					
石こうボード									
屋根瓦									
石炭灰									
311	重油			A重油					
				B重油					
				C重油					
320	揮発油			ガソリン					
				ナフサ					
321	その他の石油			航空タービン燃料					
				灯油					
				軽油					
				潤滑油					
		モーターオイル							
322	LNG(液化天然ガス)	液化天然ガス							
323	LPG(液化石油ガス)	液化プロパンガス							
		液化ブタン							
324	その他石油製品	液化メタンガス(LMG)							
		液化製造ガス							
		絶縁油							
		グリース							
		ワセリン							
		石油コークス							
331	コークス	コークス							
		半成コークス(コーライト)							
		亜炭コーライト							
5	化学工業品	351	化学薬品	希硫酸					
				濃硫酸					
				苛性ソーダ					
				炭酸ソーダ					
				無水炭酸ソーダ					
				ソーダ灰					
				塩酸					
				アンモニア					
				カーバイド					
				塩素					
				酸素					
				水素					
				無機工業製品					
		高圧ガス							
		タール製品							
		ロジン							
		しょう腦							
		ほかか腦							
		ナフタリン							
		鎖式有機工業薬品							
		アセチレンガス							
		361	化学肥料	硫酸アンモニウム					
				石灰窒素					
				尿素					
				塩化アンモニウム					
				硝酸アンモニウム					
				過りん酸石灰					
				塩化カリウム					
				硫酸カリウム					
				硫酸カリ苦土					
				化成肥料					
				配合肥料					
				石灰質肥料					
				苦土肥料					
		371	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	合成染料					
				有機溶剤					
				有機顔料					
				無機顔料					
				油性塗料					
				ラッカー					
				塩化ゴム塗料					
				セラックニス					
				シンナー					
				蛍光塗料					
				合成樹脂					
				合成ゴム					
				動物性油脂					
植物性油脂									
加工油脂									
化粧品									
ワックス									
写真感光材料									
医薬品									
可塑性									
人工甘味料									
火薬									
香料									
接着剤									
農薬									

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示		
6	軽工業品	381	紙・パルプ	溶解パルプ	7	雑工業品	441	衣服・身廻品・はきもの	衣服		
				製紙パルプ					じゆうたん		
				その他のパルプ					寝具		
				洋紙					かばん		
				和紙					ハンカチ		
				加工紙					バッグ		
				壁紙					革靴		
				加工繊維板					442	文房具・運動娯楽用品・楽器	新聞
				紙袋							雑誌
				巻き取り紙							書籍
		391	糸及び紡績半製品	紡績半製品			地図				
				長繊維糸			証券印刷物				
				紡績糸			筆記具				
				生糸			事務用具				
				絹糸			帳簿類				
		401	その他繊維工業品	織物			便せん				
				綿織物			絵画用具				
				不織布			事務用のり				
				織物			娯楽用品				
				ひも			パチンコ装置				
		411	砂糖	粗糖			囲碁				
				氷砂糖			マーじゃん				
				角砂糖			つりざお				
				水あめ			運動競技用具				
				ぶどう糖			野球用具				
		421	製造食品	ハム			ハングラライダー				
				ベーコン			CD				
牛乳	MD										
チーズ	レコード										
かまぼこ	楽器										
小麦粉	443			家具装備品	たんす						
うどん					テーブル						
茶					石炭・ガス・石油ストーブ						
コーヒー					ガスコンロ						
香辛料					湯沸器						
めん類					浴槽						
もち					洗濯ばさみ						
缶詰					ほうき						
菓子類					まな板						
味噌					皿						
醤油	コップ										
調理冷凍食品	かま										
こんにゃく	なべ										
調味料	料理用具										
422	飲料			清涼飲料	飲食器						
		ビール	ナイフ								
		清酒	はし								
		洋酒	美術品								
423	水	飲料水	工芸品								
		氷	骨董品								
424	たばこ	雪	切手・貨幣等収集品								
		紙巻たばこ	444	その他日用品	マッチ						
葉巻たばこ	ライター										
425	その他食料工業品	食塩			ろうそく						
		化学調味料			線香						
		イースト			ヘアブラシ						
		寒天			つけまつげ						
		金属製がん具			ハンガー						
431	がん具	木製がん具			ボタン						
		プラスチック製がん具			451	ゴム製品	ゴムタイヤ				
		ゴム製がん具					再生ゴム				
		人形	ゴムベルト								
			ゴムバンド								

大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示	大分類番号	大分類名	コード	中分類名	内容例示		
7	雑工業品	461	木製品	単板	8	特殊品	512	廃土砂	廃土砂		
				合板					瓦れき		
				集成材					残土(建設発生土)		
				防火木材					汚染土壌		
				障子					山土		
				雨戸					521	輸送用容器	金属製容器
				屋根							ガラス製容器
				たる							わら製容器
				おけ					531	取合せ品	引越荷物
				工業生産建築物							小屋掛材料
				プレハブ建築物							演芸見世物用具
				パネル							郵便物
				建築用ユニット							貨物
											小荷物
		471	その他製造工業品	製革	9	分類不能のもの	541	分類不能のもの	内外航船舶の小口混載貨物		
				牛革					工業用水		
				馬毛							
				革ベルト							
				ガーゼ							
				放射性物質治療用品							
				手術用品							
				メガネ							
				コンタクトレンズ							
				人工呼吸器							
				歯科材料							
				農機具							
				漁具							
いかだ											
養殖網											
防塵マスク											
サングラス											
安全帽											
救命防災器具											
医療用品											
農林水産器具											
マネキン											
8	特殊品	481	金属くず	鉄くず							
				鋼くず							
				銅くず							
				アルミくず							
				廃自動車							
		491	再利用資材	古紙							
				プラスチックくず							
				廃タイヤ							
				ゴムウエスト							
				紡績ウエスト							
		501	動植物性製造飼肥料	炭酸カルシウム							
				バクテリア類							
				乳質飼料							
				配合飼料							
				灰類							
				骨粉							
				蚕よう							
				乾燥魚類							
		ビートパルプ									
		大豆油かす									
		511	廃棄物	塵芥							
				ふん尿							
				廃油							
				雪							
				汚泥							
				焼却灰(石炭灰を除く)							
		廃家電									
ガラスくず											